

# 地域福祉に関する市民意識調査報告書

令和2年11月

鹿 児 島 市



# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査方法 .....	1
(1) 調査対象者 .....	1
(2) 調査内容 .....	1
(3) 調査時期 .....	1
(4) 調査方法 .....	1
(5) 分析方法 .....	1
(6) 集計上の注意 .....	2
<b>第2章 調査結果</b> .....	3
1. あなたご自身について .....	3
(1) 性別 .....	3
(2) 年代 .....	4
(3) 居住地区 .....	5
(4) 居住年数 .....	7
(5) 家族構成 .....	8
(6) 職業 .....	9
(7) 町内会への加入 .....	10
2. 地域福祉全般について .....	11
(1) 現在の悩みや不安 .....	11
(2) 相談相手 .....	12
(3) 民生委員・児童委員の認知度 .....	13
(4) 鹿児島市社会福祉協議会の認知度 .....	14
(5) 校区社会福祉協議会の認知度 .....	15
(6) 校区社会福祉協議会にどのような活動をしてほしいか .....	16
(7) 地域福祉館の認知度 .....	17
(8) 福祉サービスの情報の入手方法 .....	18
(9) 地域住民同士の交流や助け合い .....	19
(10) 鹿児島市の福祉施策で力を入れるべきこと .....	28
3. あなたがお住まいの地域（おおむね小学校区くらいの範囲）について .....	29
(1) 地域への愛着 .....	29
(2) 今後も現在の地域に住み続けたいか .....	30
(3) 地域活動への参加の有無 .....	31
(4) 地域活動の内容 .....	32
(5) 地域活動に参加している理由 .....	33
(6) 地域活動に現在参加していない理由 .....	34
(7) 地域活動に参加していない理由 .....	35
(8) どうすれば地域活動に参加しやすくなるか .....	36
(9) ご近所付き合いの程度 .....	37

(10) 地域で充実している福祉活動.....	38
(11) 地域で不足している福祉活動.....	39
(12) 福祉活動を充実させるために必要なこと .....	40
(13) どの団体等と連携する必要があるか.....	41
(14) 福祉全般についての自由意見.....	42
<b>第3章 調査票</b> .....	<b>69</b>

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

本市の地域福祉に関する市民の意識を把握し、第5期鹿児島市地域福祉計画策定の協議に活用することを目的とする。

## 2. 調査方法

### (1) 調査対象者

調査対象者は、住民基本台帳から無作為に抽出した鹿児島市に居住する16歳以上の3,500人である。居住地区は、中央地区、谷山地区、伊敷地区、吉野地区、桜島地区、吉田地区、喜入地区、松元地区、郡山地区の9地区とし、人口割合を考慮して抽出している。

居住地区	郵送数	回答数	有効回答率(%)
中央地区	992	539	54.3%
谷山地区	672	389	57.9%
伊敷地区	346	230	66.5%
吉野地区	346	202	58.4%
桜島地区	212	125	59.0%
吉田地区	230	134	58.3%
喜入地区	232	154	66.4%
松元地区	249	164	65.9%
郡山地区	221	130	58.8%
合計	3,500	2,076	59.3%

※回答数の合計には、居住地区無回答（9サンプル）が含まれる。

### (2) 調査内容

主な設問は、日々の暮らしの悩みや不安、福祉団体や施設等の認知度、地域住民同士の交流や助け合いについて、住んでいる地域への愛着、地域活動への参加状況、地域活動の現状などである。

### (3) 調査時期

令和2年9月

### (4) 調査方法

調査対象者に調査票を郵送し、返信用封筒を用いて回収した。

### (5) 分析方法

回答者の地区の属性と各設問への回答をクロス集計し、地域福祉に関する各地区の傾向、特徴を検討した。

(6) 集計上の注意

- 集計結果は百分率で算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の場合は、度数の合計は有効回答者の実数より高く、構成比の合計は100%を超える場合がある。

## 第2章 調査結果

### 1. あなたご自身について

#### (1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1 男

2 女

3 その他

すべての地区で「男性」より「女性」が多かった。

表1 性別のクロス集計

		サンプル数	男性	女性	その他	無回答
(上段:人、下段:%)						
合計		2,076	849	1,217	3	7
		100.0%	40.9%	<u>58.6%</u>	0.1%	0.3%
居住地 地域別	中央地区	539	197	340	1	1
		100.0%	36.5%	<u>63.1%</u>	0.2%	0.2%
	谷山地区	389	166	223	0	0
		100.0%	42.7%	<u>57.3%</u>	0.0%	0.0%
	伊敷地区	230	95	135	0	0
		100.0%	41.3%	<u>58.7%</u>	0.0%	0.0%
	吉野地区	202	92	110	0	0
		100.0%	45.5%	<u>54.5%</u>	0.0%	0.0%
	桜島地区	125	49	73	1	2
		100.0%	39.2%	<u>58.4%</u>	0.8%	1.6%
	吉田地区	134	58	74	1	1
		100.0%	43.3%	<u>55.2%</u>	0.7%	0.7%
	喜入地区	154	66	88	0	0
		100.0%	42.9%	<u>57.1%</u>	0.0%	0.0%
松元地区	164	73	90	0	1	
	100.0%	44.5%	<u>54.9%</u>	0.0%	0.6%	
郡山地区	130	51	78	0	1	
	100.0%	39.2%	<u>60.0%</u>	0.0%	0.8%	
無回答	9	2	6	0	1	
	100.0%	22.2%	<u>66.7%</u>	0.0%	11.1%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

## (2) 年代

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)											
1	16歳から19歳	2	20歳から29歳	3	30歳から39歳	4	40歳から49歳	5	50歳から59歳	6	60歳から64歳
7	65歳から69歳	8	70歳から74歳	9	75歳以上						

「60歳から64歳」が4地区で最も多かった。

表2 年代のクロス集計

		サンプル数	16歳〜19歳	20歳〜29歳	30歳〜39歳	40歳〜49歳	50歳〜59歳	60歳〜64歳	65歳〜69歳	70歳〜74歳	75歳以上	無回答
(上段:人、下段:%)												
合計		2,076	99	145	231	310	336	347	158	285	162	3
		100.0%	4.8%	7.0%	11.1%	14.9%	16.2%	<u>16.7%</u>	7.6%	13.7%	7.8%	0.1%
居住地別	中央地区	539	33	39	68	101	90	83	20	75	29	1
		100.0%	6.1%	7.2%	12.6%	<u>18.7%</u>	16.7%	15.4%	3.7%	13.9%	5.4%	0.2%
	谷山地区	389	19	32	44	58	70	85	18	45	18	0
		100.0%	4.9%	8.2%	11.3%	14.9%	18.0%	<u>21.9%</u>	4.6%	11.6%	4.6%	0.0%
	伊敷地区	230	11	14	25	31	40	42	19	33	15	0
		100.0%	4.8%	6.1%	10.9%	13.5%	17.4%	<u>18.3%</u>	8.3%	14.3%	6.5%	0.0%
	吉野地区	202	10	20	26	29	25	33	14	33	12	0
		100.0%	5.0%	9.9%	12.9%	14.4%	12.4%	<u>16.3%</u>	6.9%	<u>16.3%</u>	5.9%	0.0%
	桜島地区	125	4	8	7	13	22	26	7	25	13	0
		100.0%	3.2%	6.4%	5.6%	10.4%	17.6%	<u>20.8%</u>	5.6%	20.0%	10.4%	0.0%
	吉田地区	134	3	7	9	17	17	19	25	14	23	0
		100.0%	2.2%	5.2%	6.7%	12.7%	12.7%	14.2%	<u>18.7%</u>	10.4%	17.2%	0.0%
	喜入地区	154	4	7	19	16	25	22	19	21	21	0
	100.0%	2.6%	4.5%	12.3%	10.4%	<u>16.2%</u>	14.3%	12.3%	13.6%	13.6%	0.0%	
松元地区	164	13	11	22	29	29	18	13	17	12	0	
	100.0%	7.9%	6.7%	13.4%	<u>17.7%</u>	<u>17.7%</u>	11.0%	7.9%	10.4%	7.3%	0.0%	
郡山地区	130	2	6	11	14	17	17	22	21	19	1	
	100.0%	1.5%	4.6%	8.5%	10.8%	13.1%	13.1%	<u>16.9%</u>	16.2%	14.6%	0.8%	
無回答	9	0	1	0	2	1	2	1	1	0	1	
	100.0%	0.0%	11.1%	0.0%	<u>22.2%</u>	11.1%	<u>22.2%</u>	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

### (3) 居住地区

問3 あなたは、どこの地区にお住まいですか。(○は1つだけ)											
1	本庁(中央)	2	谷山	3	伊敷	4	吉野	5	桜島		
6	吉田	7	喜入	8	松元	9	郡山				

各地区の性別と年齢別の回答者の分布を表3、表4に示している。

表3 居住地区と年代のクロス集計(男性)

	サンプル数	男性										
		16歳〜19歳	20歳〜29歳	30歳〜39歳	40歳〜49歳	50歳〜59歳	60歳〜69歳	70歳〜79歳	80歳〜89歳	90歳以上	無回答	
(上段:人、下段:%)												
合計	849	44	60	83	129	120	148	74	122	68	1	
	100.0%	5.2%	7.1%	9.8%	15.2%	14.1%	17.4%	8.7%	14.4%	8.0%	0.1%	
居住地域別	中央地区	197	15	10	20	42	27	34	10	28	11	0
		100.0%	7.6%	5.1%	10.2%	21.3%	13.7%	17.3%	5.1%	14.2%	5.6%	0.0%
	谷山地区	166	5	17	19	27	25	35	9	22	7	0
		100.0%	3.0%	10.2%	11.4%	16.3%	15.1%	21.1%	5.4%	13.3%	4.2%	0.0%
	伊敷地区	95	4	5	10	13	16	19	9	14	5	0
		100.0%	4.2%	5.3%	10.5%	13.7%	16.8%	20.0%	9.5%	14.7%	5.3%	0.0%
	吉野地区	92	8	12	9	14	8	14	6	15	6	0
		100.0%	8.7%	13.0%	9.8%	15.2%	8.7%	15.2%	6.5%	16.3%	6.5%	0.0%
	桜島地区	49	2	3	1	5	11	11	1	9	6	0
		100.0%	4.1%	6.1%	2.0%	10.2%	22.4%	22.4%	2.0%	18.4%	12.2%	0.0%
	吉田地区	58	1	3	4	7	5	9	13	6	10	0
		100.0%	1.7%	5.2%	6.9%	12.1%	8.6%	15.5%	22.4%	10.3%	17.2%	0.0%
喜入地区	66	2	2	7	4	11	10	9	11	10	0	
	100.0%	3.0%	3.0%	10.6%	6.1%	16.7%	15.2%	13.6%	16.7%	15.2%	0.0%	
松元地区	73	7	6	8	11	12	8	7	8	6	0	
	100.0%	9.6%	8.2%	11.0%	15.1%	16.4%	11.0%	9.6%	11.0%	8.2%	0.0%	
郡山地区	51	0	2	5	5	5	8	9	9	7	1	
	100.0%	0.0%	3.9%	9.8%	9.8%	9.8%	15.7%	17.6%	17.6%	13.7%	2.0%	
無回答	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

表4 居住地区と年代のクロス集計（女性）

		サ ン プ ル 数	女性									無 回 答
			1 6 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 4 歳	6 5 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 4 歳	7 5 歳 以 上	
(上段:人、下段:%)												
合計		1,217	55	83	147	179	214	199	84	163	92	1
		100.0%	4.5%	6.8%	12.1%	14.7%	<u>17.6%</u>	16.4%	6.9%	13.4%	7.6%	0.1%
居 住 地 域 別	中央地区	340	18	29	48	57	63	49	10	47	18	1
		100.0%	5.3%	8.5%	14.1%	16.8%	<u>18.5%</u>	14.4%	2.9%	13.8%	5.3%	0.3%
	谷山地区	223	14	15	25	31	45	50	9	23	11	0
		100.0%	6.3%	6.7%	11.2%	13.9%	20.2%	<u>22.4%</u>	4.0%	10.3%	4.9%	0.0%
	伊敷地区	135	7	9	15	18	24	23	10	19	10	0
		100.0%	5.2%	6.7%	11.1%	13.3%	<u>17.8%</u>	17.0%	7.4%	14.1%	7.4%	0.0%
	吉野地区	110	2	8	17	15	17	19	8	18	6	0
		100.0%	1.8%	7.3%	15.5%	13.6%	15.5%	<u>17.3%</u>	7.3%	16.4%	5.5%	0.0%
	桜島地区	73	2	4	6	8	9	15	6	16	7	0
		100.0%	2.7%	5.5%	8.2%	11.0%	12.3%	20.5%	8.2%	<u>21.9%</u>	9.6%	0.0%
	吉田地区	74	2	4	4	10	12	10	12	8	12	0
		100.0%	2.7%	5.4%	5.4%	13.5%	<u>16.2%</u>	13.5%	<u>16.2%</u>	10.8%	<u>16.2%</u>	0.0%
	喜入地区	88	2	5	12	12	14	12	10	10	11	0
		100.0%	2.3%	5.7%	13.6%	13.6%	<u>15.9%</u>	13.6%	11.4%	11.4%	12.5%	0.0%
松元地区	90	6	4	14	18	17	10	6	9	6	0	
	100.0%	6.7%	4.4%	15.6%	<u>20.0%</u>	18.9%	11.1%	6.7%	10.0%	6.7%	0.0%	
郡山地区	78	2	4	6	9	12	9	13	12	11	0	
	100.0%	2.6%	5.1%	7.7%	11.5%	15.4%	11.5%	<u>16.7%</u>	15.4%	14.1%	0.0%	
無回答	6	0	1	0	1	1	2	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	<u>33.3%</u>	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(4) 居住年数

問4 あなたは、鹿児島市にお住まいになって何年になりますか。(○は1つだけ)			
1	2年未満	2	2年以上10年未満
3	10年以上(転入してからずっと)	4	10年以上(生まれてからずっと)

「10年以上」がすべての地区で最も多く、喜入地区以外の地区は8割を超えている。特に、「10年以上(生まれてからずっと)」は、中央地区、吉野地区、桜島地区、郡山地区で最も多かった。

表5 居住年数のクロス集計

		サンプル数	2年未満	2年以上10年未満	(10年以上(転入してからずっと))	(10年以上(生まれてからずっと))	無回答
(上段:人、下段:%)							
合計		2,076	70	239	876	881	10
		100.0%	3.4%	11.5%	42.2%	42.4%	0.5%
居住地域別	中央地区	539	29	63	211	236	0
		100.0%	5.4%	11.7%	39.1%	43.8%	0.0%
	谷山地区	389	17	51	180	141	0
		100.0%	4.4%	13.1%	46.3%	36.2%	0.0%
	伊敷地区	230	7	19	102	101	1
		100.0%	3.0%	8.3%	44.3%	43.9%	0.4%
	吉野地区	202	2	28	79	92	1
		100.0%	1.0%	13.9%	39.1%	45.5%	0.5%
	桜島地区	125	1	9	32	83	0
		100.0%	0.8%	7.2%	25.6%	66.4%	0.0%
	吉田地区	134	2	11	64	56	1
		100.0%	1.5%	8.2%	47.8%	41.8%	0.7%
	喜入地区	154	8	23	75	47	1
		100.0%	5.2%	14.9%	48.7%	30.5%	0.6%
松元地区	164	2	23	77	61	1	
	100.0%	1.2%	14.0%	47.0%	37.2%	0.6%	
郡山地区	130	2	11	54	60	3	
	100.0%	1.5%	8.5%	41.5%	46.2%	2.3%	
無回答	9	0	1	2	4	2	
	100.0%	0.0%	11.1%	22.2%	44.4%	22.2%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

## (5) 家族構成

問5 あなたの家族構成は次のどれですか。(○は1つだけ)

- 1 ひとり暮らし    2 夫婦のみ    3 親と子    4 3世代以上の家族  
5 その他(具体的に )

「親と子」が喜入地区以外の地区で最も多く、すべての地区で4割を超えている。

表6 家族構成のクロス集計

		サンプル数	ひとり暮らし	夫婦のみ	親と子	3世代以上の家族	その他	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	246	618	998	87	118	9
		100.0%	11.8%	29.8%	<u>48.1%</u>	4.2%	5.7%	0.4%
居住地 地域別	中央地区	539	93	145	253	19	28	1
		100.0%	17.3%	26.9%	<u>46.9%</u>	3.5%	5.2%	0.2%
	谷山地区	389	43	99	208	14	22	3
		100.0%	11.1%	25.4%	<u>53.5%</u>	3.6%	5.7%	0.8%
	伊敷地区	230	27	60	121	13	9	0
		100.0%	11.7%	26.1%	<u>52.6%</u>	5.7%	3.9%	0.0%
	吉野地区	202	18	59	98	7	20	0
		100.0%	8.9%	29.2%	<u>48.5%</u>	3.5%	9.9%	0.0%
	桜島地区	125	16	44	50	7	7	1
		100.0%	12.8%	35.2%	<u>40.0%</u>	5.6%	5.6%	0.8%
	吉田地区	134	9	48	58	9	8	2
		100.0%	6.7%	35.8%	<u>43.3%</u>	6.7%	6.0%	1.5%
	喜入地区	154	14	65	63	6	6	0
		100.0%	9.1%	<u>42.2%</u>	40.9%	3.9%	3.9%	0.0%
松元地区	164	7	47	93	8	8	1	
	100.0%	4.3%	28.7%	<u>56.7%</u>	4.9%	4.9%	0.6%	
郡山地区	130	15	49	53	3	10	0	
	100.0%	11.5%	37.7%	<u>40.8%</u>	2.3%	7.7%	0.0%	
無回答	9	4	2	1	1	0	1	
	100.0%	<u>44.4%</u>	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

(6) 職業

問6 あなたのご職業は次のどれですか。(○は1つだけ)											
1	農林水産業	2	自営業	3	会社員	4	公務員・団体職員				
5	パート・アルバイト	6	学生	7	専業主婦・主夫	8	無職				
9	その他(具体的に )										

「会社員」が6地区で最も多く、「無職」は、吉田地区、喜入地区、郡山地区で最も多く、2割を超えている。

表7 職業のクロス集計

		サンプル数	農林水産業	自営業	会社員	公務員・団体職員	パート・アルバイト	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答
(上段:人、下段:%)												
合計		2,076	25	130	502	150	372	157	272	368	85	15
		100.0%	1.2%	6.3%	<u>24.2%</u>	7.2%	17.9%	7.6%	13.1%	17.7%	4.1%	0.7%
居住地域別	中央地区	539	0	35	131	41	100	54	66	84	24	4
		100.0%	0.0%	6.5%	<u>24.3%</u>	7.6%	18.6%	10.0%	12.2%	15.6%	4.5%	0.7%
	谷山地区	389	1	25	113	28	62	31	55	56	16	2
		100.0%	0.3%	6.4%	<u>29.0%</u>	7.2%	15.9%	8.0%	14.1%	14.4%	4.1%	0.5%
	伊敷地区	230	1	18	50	23	32	16	34	43	13	0
		100.0%	0.4%	7.8%	<u>21.7%</u>	10.0%	13.9%	7.0%	14.8%	18.7%	5.7%	0.0%
	吉野地区	202	0	8	55	12	40	21	28	29	8	1
		100.0%	0.0%	4.0%	<u>27.2%</u>	5.9%	19.8%	10.4%	13.9%	14.4%	4.0%	0.5%
	桜島地区	125	8	7	26	8	22	7	19	24	3	1
		100.0%	6.4%	5.6%	<u>20.8%</u>	6.4%	17.6%	5.6%	15.2%	19.2%	2.4%	0.8%
	吉田地区	134	3	13	25	7	22	5	17	34	7	1
		100.0%	2.2%	9.7%	18.7%	5.2%	16.4%	3.7%	12.7%	<u>25.4%</u>	5.2%	0.7%
	喜入地区	154	7	4	35	9	31	5	18	38	4	3
	100.0%	4.5%	2.6%	22.7%	5.8%	20.1%	3.2%	11.7%	<u>24.7%</u>	2.6%	1.9%	
松元地区	164	3	12	38	16	35	14	22	23	1	0	
	100.0%	1.8%	7.3%	<u>23.2%</u>	9.8%	21.3%	8.5%	13.4%	14.0%	0.6%	0.0%	
郡山地区	130	2	7	29	6	26	3	12	34	9	2	
	100.0%	1.5%	5.4%	22.3%	4.6%	20.0%	2.3%	9.2%	<u>26.2%</u>	6.9%	1.5%	
無回答	9	0	1	0	0	2	1	1	3	0	1	
	100.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	<u>33.3%</u>	0.0%	11.1%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

## (7) 町内会への加入

問7 あなたは、町内会に加入していますか。(○は1つだけ)

- 1 加入している    2 過去に加入していた    3 一度も加入したことがない  
4 町内会がない

「加入している」がすべての地区で最も多く、5割を超えている。

表8 町内会への加入の有無のクロス集計

		サンプル数	加入している	過去に加入していた	一度も加入したことがない	町内会がない	無回答
(上段:人、下段:%)							
合計		2,076	1,400	311	301	49	15
		100.0%	67.4%	15.0%	14.5%	2.4%	0.7%
居住地 地域別	中央地区	539	327	85	100	26	1
		100.0%	60.7%	15.8%	18.6%	4.8%	0.2%
	谷山地区	389	234	73	75	5	2
		100.0%	60.2%	18.8%	19.3%	1.3%	0.5%
	伊敷地区	230	177	25	20	8	0
		100.0%	77.0%	10.9%	8.7%	3.5%	0.0%
	吉野地区	202	109	43	44	5	1
		100.0%	54.0%	21.3%	21.8%	2.5%	0.5%
	桜島地区	125	108	7	4	3	3
		100.0%	86.4%	5.6%	3.2%	2.4%	2.4%
	吉田地区	134	88	30	14	1	1
		100.0%	65.7%	22.4%	10.4%	0.7%	0.7%
	喜入地区	154	136	9	8	0	1
		100.0%	88.3%	5.8%	5.2%	0.0%	0.6%
松元地区	164	123	20	19	1	1	
	100.0%	75.0%	12.2%	11.6%	0.6%	0.6%	
郡山地区	130	96	16	15	0	3	
	100.0%	73.8%	12.3%	11.5%	0.0%	2.3%	
無回答	9	2	3	2	0	2	
	100.0%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	22.2%	

% : 各属性で最も回答が多い

## 2. 地域福祉全般について

### (1) 現在の悩みや不安

問8 あなたは、現在、次のような悩みや不安を感じていますか。(複数選択可)																			
1	自分や家族の健康	2	近所との関係	3	経済的なこと	4	家族の介護	5	子育て	6	大雨や地震などの災害	7	困ったときに頼れる人が身近にいないこと	8	買い物等の外出	9	特に悩みや不安はない	10	その他(具体的に )

「自分や家族の健康」がすべての地区で最も多く4割を超えている。また、「経済的なこと」が中央地区、谷山地区、伊敷地区、吉田地区で3割を超えている。

なお、桜島地区、喜入地区、郡山地区では、「大雨や地震などの災害」が、3割を超えている。

表9 現在の悩みや不安のクロス集計

		サンプル数	自分や家族の健康	近所との関係	経済的なこと	家族の介護	子育て	大雨や地震などの災害	困ったときに頼れる人が身近にいないこと	買い物等の外出	特に悩みや不安はない	その他	無回答
(上段:人、下段:%)													
合計		2,076	947	111	654	337	162	581	135	123	488	71	57
		-	45.6%	5.3%	31.5%	16.2%	7.8%	28.0%	6.5%	5.9%	23.5%	3.4%	2.7%
居住地別	中央地区	539	238	25	184	81	42	125	41	26	138	25	17
		-	44.2%	4.6%	34.1%	15.0%	7.8%	23.2%	7.6%	4.8%	25.6%	4.6%	3.2%
	谷山地区	389	173	17	127	73	37	109	18	21	93	9	11
		-	44.5%	4.4%	32.6%	18.8%	9.5%	28.0%	4.6%	5.4%	23.9%	2.3%	2.8%
	伊敷地区	230	104	12	75	45	18	54	23	12	56	8	3
		-	45.2%	5.2%	32.6%	19.6%	7.8%	23.5%	10.0%	5.2%	24.3%	3.5%	1.3%
	吉野地区	202	89	7	60	28	18	50	12	11	53	5	7
		-	44.1%	3.5%	29.7%	13.9%	8.9%	24.8%	5.9%	5.4%	26.2%	2.5%	3.5%
	桜島地区	125	58	7	30	25	6	39	7	14	27	8	5
		-	46.4%	5.6%	24.0%	20.0%	4.8%	31.2%	5.6%	11.2%	21.6%	6.4%	4.0%
	吉田地区	134	70	10	46	21	7	39	11	9	23	3	2
		-	52.2%	7.5%	34.3%	15.7%	5.2%	29.1%	8.2%	6.7%	17.2%	2.2%	1.5%
	喜入地区	154	76	13	43	22	7	71	11	12	26	5	4
		-	49.4%	8.4%	27.9%	14.3%	4.5%	46.1%	7.1%	7.8%	16.9%	3.2%	2.6%
松元地区	164	66	16	48	26	20	40	5	13	42	7	4	
	-	40.2%	9.8%	29.3%	15.9%	12.2%	24.4%	3.0%	7.9%	25.6%	4.3%	2.4%	
郡山地区	130	68	4	38	14	7	54	5	5	29	1	2	
	-	52.3%	3.1%	29.2%	10.8%	5.4%	41.5%	3.8%	3.8%	22.3%	0.8%	1.5%	
無回答	9	5	0	3	2	0	0	2	0	1	0	2	
	-	55.6%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(2) 相談相手

問9 あなたは、悩みや不安を感じたとき、誰に（どこに）相談することが多いですか。  
 (複数選択可)

1 家族・親類	2 友人・知人
3 町内会・コミュニティ協議会等の地域団体	4 近所の人
5 民生委員・児童委員	6 校区社会福祉協議会
7 学校	8 行政の関係課
9 鹿児島市社会福祉協議会	10 地域福祉館
11 地域包括支援センター	12 地域福祉支援員
13 病院・福祉関連施設	14 相談したいができる人がいない
15 誰にも相談したくない	
16 その他（具体的に	)

「家族・親類」がすべての地区で最も多く、7割を超えている。一方、「相談したいができる人がいない」がすべての地区で寄せられた。

表10 相談相手のクロス集計

	サンプル数	家族・親類	友人・知人	町内会・コミュニティ協議会等の地域団体	近所の人	民生委員・児童委員	校区社会福祉協議会	学校	行政の関係課	鹿児島市社会福祉協議会	地域福祉館	地域包括支援センター	地域福祉支援員	病院・福祉関連施設	相談したいができる人がいない	誰にも相談したくない	その他	無回答	
(上段:人、下段:%)																			
合計	2,076	1,716	1,096	17	71	21	3	31	57	15	2	38	5	131	71	50	45	50	
	-	82.7%	52.8%	0.8%	3.4%	1.0%	0.1%	1.5%	2.7%	0.7%	0.1%	1.8%	0.2%	6.3%	3.4%	2.4%	2.2%	2.4%	
居住地域別	中央地区	539	439	315	2	18	2	0	10	12	4	1	11	2	34	17	10	10	16
		-	81.4%	58.4%	0.4%	3.3%	0.4%	0.0%	1.9%	2.2%	0.7%	0.2%	2.0%	0.4%	6.3%	3.2%	1.9%	1.9%	3.0%
	谷山地区	389	333	203	1	11	3	1	7	13	1	0	7	1	19	12	9	8	8
		-	85.6%	52.2%	0.3%	2.8%	0.8%	0.3%	1.8%	3.3%	0.3%	0.0%	1.8%	0.3%	4.9%	3.1%	2.3%	2.1%	2.1%
	伊敷地区	230	186	129	2	5	3	0	2	4	0	0	2	1	15	7	4	7	4
		-	80.9%	56.1%	0.9%	2.2%	1.3%	0.0%	0.9%	1.7%	0.0%	0.0%	0.9%	0.4%	6.5%	3.0%	1.7%	3.0%	1.7%
	吉野地区	202	167	105	2	4	1	0	3	5	2	0	6	0	9	4	6	5	6
		-	82.7%	52.0%	1.0%	2.0%	0.5%	0.0%	1.5%	2.5%	1.0%	0.0%	3.0%	0.0%	4.5%	2.0%	3.0%	2.5%	3.0%
	桜島地区	125	97	56	1	8	2	1	0	7	1	0	0	0	12	11	6	1	5
		-	77.6%	44.8%	0.8%	6.4%	1.6%	0.8%	0.0%	5.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.6%	8.8%	4.8%	0.8%	4.0%
	吉田地区	134	110	59	1	3	0	0	3	3	3	0	4	0	12	5	3	4	2
		-	82.1%	44.0%	0.7%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%	3.0%	0.0%	9.0%	3.7%	2.2%	3.0%	1.5%
	喜入地区	154	130	68	3	6	4	0	2	4	3	0	3	0	9	6	6	4	2
		-	84.4%	44.2%	1.9%	3.9%	2.6%	0.0%	1.3%	2.6%	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%	5.8%	3.9%	3.9%	2.6%	1.3%
	松元地区	164	134	93	1	8	3	1	2	6	0	0	2	1	8	6	5	4	4
		-	81.7%	56.7%	0.6%	4.9%	1.8%	0.6%	1.2%	3.7%	0.0%	0.0%	1.2%	0.6%	4.9%	3.7%	3.0%	2.4%	2.4%
郡山地区	130	115	65	3	8	3	0	2	3	1	1	3	0	12	2	1	2	2	
	-	88.5%	50.0%	2.3%	6.2%	2.3%	0.0%	1.5%	2.3%	0.8%	0.8%	2.3%	0.0%	9.2%	1.5%	0.8%	1.5%	1.5%	
無回答	9	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
	-	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	

※:各属性で最も回答が多い

(3) 民生委員・児童委員の認知度

問 10 あなたは、「民生委員・児童委員」を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 名称も活動内容もよく知っている
- 2 名称は知っており、活動内容も少しは知っている
- 3 名称は知っているが、活動内容は知らない
- 4 名称も活動内容も知らない

「名称は知っており、活動内容も少しは知っている」がすべての地区で最も多かった。また、桜島地区、喜入地区、郡山地区は「名称も活動内容もよく知っている」が2割を超えている。

表 1 1 民生委員・児童委員の認知度のクロス集計

		サンプル数	よく名称も活動内容も知っている	活動内容は知っているが、活動内容は知らない	名称も活動内容も知らない	無回答	
(上段:人、下段:%)							
合計		2,076	282	860	634	264	36
		100.0%	13.6%	41.4%	30.5%	12.7%	1.7%
居住地域別	中央地区	539	66	211	180	73	9
		100.0%	12.2%	39.1%	33.4%	13.5%	1.7%
	谷山地区	389	32	153	144	54	6
		100.0%	8.2%	39.3%	37.0%	13.9%	1.5%
	伊敷地区	230	28	108	68	24	2
		100.0%	12.2%	47.0%	29.6%	10.4%	0.9%
	吉野地区	202	26	75	69	28	4
		100.0%	12.9%	37.1%	34.2%	13.9%	2.0%
	桜島地区	125	33	59	17	12	4
		100.0%	26.4%	47.2%	13.6%	9.6%	3.2%
	吉田地区	134	18	61	38	16	1
		100.0%	13.4%	45.5%	28.4%	11.9%	0.7%
	喜入地区	154	33	68	38	12	3
		100.0%	21.4%	44.2%	24.7%	7.8%	1.9%
松元地区	164	18	65	46	32	3	
	100.0%	11.0%	39.6%	28.0%	19.5%	1.8%	
郡山地区	130	27	58	30	12	3	
	100.0%	20.8%	44.6%	23.1%	9.2%	2.3%	
無回答	9	1	2	4	1	1	
	100.0%	11.1%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	

% :各属性で最も回答が多い

#### (4) 鹿児島市社会福祉協議会の認知度

問 11 あなたは、「鹿児島市社会福祉協議会」を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 名称も活動内容もよく知っている
- 2 名称は知っており、活動内容も少しは知っている
- 3 名称は知っているが、活動内容は知らない
- 4 名称も活動内容も知らない

「名称は知っているが、活動内容は知らない」がすべての地区で最も多かった。また、谷山地区、吉野地区では「名称も活動内容も知らない」が2割を超えている。

表 1 2 鹿児島市社会福祉協議会の認知度のクロス集計

		サンプル数	よく名称も活動内容も知っている	活動内容は知っているが、活動内容は知らない	名称も活動内容も知らない	無回答	
(上段:人、下段:%)							
合計		2,076	186	542	955	41	
		100.0%	9.0%	26.1%	<u>46.0%</u>	17.0%	2.0%
居住地域別	中央地区	539	33	123	272	101	10
		100.0%	6.1%	22.8%	<u>50.5%</u>	18.7%	1.9%
	谷山地区	389	27	88	185	83	6
		100.0%	6.9%	22.6%	<u>47.6%</u>	21.3%	1.5%
	伊敷地区	230	16	70	107	34	3
		100.0%	7.0%	30.4%	<u>46.5%</u>	14.8%	1.3%
	吉野地区	202	22	47	83	46	4
		100.0%	10.9%	23.3%	<u>41.1%</u>	22.8%	2.0%
	桜島地区	125	19	45	45	11	5
		100.0%	15.2%	<u>36.0%</u>	<u>36.0%</u>	8.8%	4.0%
	吉田地区	134	18	38	64	13	1
		100.0%	13.4%	28.4%	<u>47.8%</u>	9.7%	0.7%
	喜入地区	154	22	50	59	19	4
		100.0%	14.3%	32.5%	<u>38.3%</u>	12.3%	2.6%
松元地区	164	12	40	81	28	3	
	100.0%	7.3%	24.4%	<u>49.4%</u>	17.1%	1.8%	
郡山地区	130	17	40	57	12	4	
	100.0%	13.1%	30.8%	<u>43.8%</u>	9.2%	3.1%	
無回答	9	0	1	2	5	1	
	100.0%	0.0%	11.1%	22.2%	<u>55.6%</u>	11.1%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(5) 校区社会福祉協議会の認知度

問 12	あなたは、概ね小学校区単位で組織され、各地域において、福祉活動を実施している「校区社会福祉協議会」を知っていますか。(○は1つだけ)
1	名称も活動内容もよく知っている
2	名称は知っており、活動内容も少しは知っている
3	名称は知っているが、活動内容は知らない
4	名称も活動内容も知らない

「名称も活動内容も知らない」が桜島地区以外の地区で最も多かった。

表 1 3 校区社会福祉協議会の認知度のクロス集計

		サンプル数	よく名称も活動内容も知っている	名称は活動内容も少しは知っている	活動内容は知っているが、	名称も活動内容も知らない	無回答
(上段:人、下段:%)							
合計		2,076	102	299	564	1,074	37
		100.0%	4.9%	14.4%	27.2%	51.7%	1.8%
居住地域別	中央地区	539	13	66	137	314	9
		100.0%	2.4%	12.2%	25.4%	58.3%	1.7%
	谷山地区	389	15	44	92	230	8
		100.0%	3.9%	11.3%	23.7%	59.1%	2.1%
	伊敷地区	230	12	35	67	114	2
		100.0%	5.2%	15.2%	29.1%	49.6%	0.9%
	吉野地区	202	6	20	51	121	4
		100.0%	3.0%	9.9%	25.2%	59.9%	2.0%
	桜島地区	125	10	31	41	39	4
		100.0%	8.0%	24.8%	32.8%	31.2%	3.2%
	吉田地区	134	11	18	42	62	1
		100.0%	8.2%	13.4%	31.3%	46.3%	0.7%
	喜入地区	154	15	37	43	56	3
		100.0%	9.7%	24.0%	27.9%	36.4%	1.9%
松元地区	164	9	25	47	80	3	
	100.0%	5.5%	15.2%	28.7%	48.8%	1.8%	
郡山地区	130	10	23	42	53	2	
	100.0%	7.7%	17.7%	32.3%	40.8%	1.5%	
無回答	9	1	0	2	5	1	
	100.0%	11.1%	0.0%	22.2%	55.6%	11.1%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(6) 校区社会福祉協議会にどのような活動をしてほしいか

問 13 あなたは、校区社会福祉協議会にどのような活動をしてほしいとお考えですか。  
(複数選択可)

1 住民が気軽に参加できる交流活動	2 子育てサロンなどの子育て支援
3 子ども食堂（地域食堂）への支援	4 敬老行事などの高齢者支援
5 認知症や介護予防などに関する研修会	6 要支援者に対する見守り活動
7 要支援者への災害時の支援活動	8 地域の困りごとに関する相談への対応
9 買い物や通院などへの支援活動	10 福祉マップや広報紙などによる情報提供
11 分からない	
12 その他（	）

「分からない」が6地区で最も多かった。また、「住民が気軽に参加できる交流活動」がすべての地区で2割を超えている。

表 1 4 校区社会福祉協議会にどのような活動をしてほしいかのクロス集計

	サンプル数	活動 住民が 気軽に 参加で きる交 流	援 子育 てサ ロン など の子 育て 支	支 子 ど も 食 堂 （ 地 域 食 堂 ） へ の	敬 老 行 事 な ど の 高 齢 者 支 援	認 知 症 や 介 護 予 防 な ど に 関 す	要 支 援 者 に 対 す る 見 守 り 活 動	動 要 支 援 者 へ の 災 害 時 の 支 援 活	地 域 の 困 り ご と に 関 す る 相 談	動 買 い 物 や 通 院 な ど へ の 支 援 活	福 祉 マ ッ プ や 広 報 紙 な ど に よ	分 か ら な い	そ の 他	無 回 答
(上段:人、下段:%)														
合計	2,076	477	303	246	211	274	433	411	477	280	261	585	37	83
	-	23.0%	14.6%	11.8%	10.2%	13.2%	20.9%	19.8%	23.0%	13.5%	12.6%	28.2%	1.8%	4.0%
中央地区	539	109	94	73	52	59	119	106	122	65	67	162	11	17
	-	20.2%	17.4%	13.5%	9.6%	10.9%	22.1%	19.7%	22.6%	12.1%	12.4%	30.1%	2.0%	3.2%
谷山地区	389	86	61	59	30	57	77	86	101	42	55	108	4	17
	-	22.1%	15.7%	15.2%	7.7%	14.7%	19.8%	22.1%	26.0%	10.8%	14.1%	27.8%	1.0%	4.4%
伊敷地区	230	47	38	35	30	32	54	45	60	32	33	64	4	10
	-	20.4%	16.5%	15.2%	13.0%	13.9%	23.5%	19.6%	26.1%	13.9%	14.3%	27.8%	1.7%	4.3%
吉野地区	202	45	22	18	12	22	32	29	37	13	24	77	4	11
	-	22.3%	10.9%	8.9%	5.9%	10.9%	15.8%	14.4%	18.3%	6.4%	11.9%	38.1%	2.0%	5.4%
桜島地区	125	34	13	9	21	23	25	22	24	32	13	27	3	7
	-	27.2%	10.4%	7.2%	16.8%	18.4%	20.0%	17.6%	19.2%	25.6%	10.4%	21.6%	2.4%	5.6%
吉田地区	134	31	15	11	20	14	27	29	29	21	27	34	1	6
	-	23.1%	11.2%	8.2%	14.9%	10.4%	20.1%	21.6%	21.6%	15.7%	20.1%	25.4%	0.7%	4.5%
喜入地区	154	51	17	18	15	17	31	33	32	21	19	35	4	3
	-	33.1%	11.0%	11.7%	9.7%	11.0%	20.1%	21.4%	20.8%	13.6%	12.3%	22.7%	2.6%	1.9%
松元地区	164	40	26	12	13	21	32	29	36	28	14	50	3	6
	-	24.4%	15.9%	7.3%	7.9%	12.8%	19.5%	17.7%	22.0%	17.1%	8.5%	30.5%	1.8%	3.7%
郡山地区	130	32	15	11	16	27	35	30	33	25	8	27	3	4
	-	24.6%	11.5%	8.5%	12.3%	20.8%	26.9%	23.1%	25.4%	19.2%	6.2%	20.8%	2.3%	3.1%
無回答	9	2	2	0	2	2	1	2	3	1	1	1	0	2
	-	22.2%	22.2%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(7) 地域福祉館の認知度

問 14 あなたは、地域福祉の推進拠点施設である「地域福祉館（41 館）」を知っていますか。

（○は1つだけ）

- 1 名称も施設機能もよく知っている
- 2 名称は知っており、施設機能も少しは知っている
- 3 名称は知っているが、施設機能は知らない
- 4 名称も施設機能も知らない

「名称も施設機能も知らない」が伊敷地区以外の地区で最も多かった。また、「名称は知っており、施設機能も少しは知っている」が中央地区、谷山地区、伊敷地区、吉野地区で2割を超えている。

表 1 5 地域福祉館の認知度のクロス集計

		サンプル数	よく名称も施設機能も知っている	施設機能も少しは知っている	名称は知っており、施設機能も知らないが、	名称も施設機能も知らない	無回答
(上段: 人、下段: %)							
合計		2,076	146	400	551	926	53
		100.0%	7.0%	19.3%	26.5%	44.6%	2.6%
居住地域別	中央地区	539	36	116	142	230	15
		100.0%	6.7%	21.5%	26.3%	42.7%	2.8%
	谷山地区	389	26	96	98	160	9
		100.0%	6.7%	24.7%	25.2%	41.1%	2.3%
	伊敷地区	230	25	53	79	69	4
		100.0%	10.9%	23.0%	34.3%	30.0%	1.7%
	吉野地区	202	17	47	58	75	5
		100.0%	8.4%	23.3%	28.7%	37.1%	2.5%
	桜島地区	125	5	16	30	68	6
		100.0%	4.0%	12.8%	24.0%	54.4%	4.8%
	吉田地区	134	9	19	32	72	2
		100.0%	6.7%	14.2%	23.9%	53.7%	1.5%
	喜入地区	154	10	17	31	92	4
	100.0%	6.5%	11.0%	20.1%	59.7%	2.6%	
松元地区	164	9	19	42	91	3	
	100.0%	5.5%	11.6%	25.6%	55.5%	1.8%	
郡山地区	130	9	17	38	64	2	
	100.0%	6.9%	13.1%	29.2%	49.2%	1.5%	
無回答	9	0	0	1	5	3	
	100.0%	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	33.3%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

## (8) 福祉サービスの情報の入手方法

問 15 あなたは、福祉に関する情報をどこで入手しますか。(複数選択可)											
1	市民のひろば	2	市役所の窓口	3	福祉館だより						
4	地域福祉館	5	地域包括支援センター	6	近所の人・友人						
7	新聞・雑誌	8	インターネット	9	社協だより						
10	テレビ・ラジオ	11	病院・福祉関連施設	12	地域の回覧板						
13	その他 ( )										

「市民のひろば」がすべての地区で最も多く、5割を超えている。

表 16 福祉サービスの情報入手方法のクロス集計

		サンプル数	市民のひろば	市役所の窓口	福祉館だより	地域福祉館	地域包括支援センター	近所の人・友人	新聞・雑誌	インターネット	社協だより	テレビ・ラジオ	病院・福祉関連施設	地域の回覧板	その他	無回答
(上段:人、下段:%)																
合計		2,076	1,272	157	100	49	66	203	404	496	197	518	187	411	71	68
		-	61.3%	7.6%	4.8%	2.4%	3.2%	9.8%	19.5%	23.9%	9.5%	25.0%	9.0%	19.8%	3.4%	3.3%
居住地域別	中央地区	539	332	38	23	10	19	54	95	146	29	128	44	86	18	15
		-	61.6%	7.1%	4.3%	1.9%	3.5%	10.0%	17.6%	27.1%	5.4%	23.7%	8.2%	16.0%	3.3%	2.8%
	谷山地区	389	240	36	25	12	8	33	78	103	25	97	35	67	10	14
		-	61.7%	9.3%	6.4%	3.1%	2.1%	8.5%	20.1%	26.5%	6.4%	24.9%	9.0%	17.2%	2.6%	3.6%
	伊敷地区	230	147	15	12	8	6	17	45	58	18	56	16	50	6	8
		-	63.9%	6.5%	5.2%	3.5%	2.6%	7.4%	19.6%	25.2%	7.8%	24.3%	7.0%	21.7%	2.6%	3.5%
	吉野地区	202	125	13	9	4	5	19	41	60	18	51	19	27	8	6
		-	61.9%	6.4%	4.5%	2.0%	2.5%	9.4%	20.3%	29.7%	8.9%	25.2%	9.4%	13.4%	4.0%	3.0%
	桜島地区	125	76	7	3	2	6	17	27	18	25	29	13	38	5	6
		-	60.8%	5.6%	2.4%	1.6%	4.8%	13.6%	21.6%	14.4%	20.0%	23.2%	10.4%	30.4%	4.0%	4.8%
	吉田地区	134	82	10	7	5	6	20	31	21	22	32	16	27	3	4
		-	61.2%	7.5%	5.2%	3.7%	4.5%	14.9%	23.1%	15.7%	16.4%	23.9%	11.9%	20.1%	2.2%	3.0%
	喜入地区	154	94	15	2	4	6	16	29	28	21	39	14	47	5	3
		-	61.0%	9.7%	1.3%	2.6%	3.9%	10.4%	18.8%	18.2%	13.6%	25.3%	9.1%	30.5%	3.2%	1.9%
松元地区	164	93	14	8	2	4	14	27	36	20	43	15	39	7	6	
	-	56.7%	8.5%	4.9%	1.2%	2.4%	8.5%	16.5%	22.0%	12.2%	26.2%	9.1%	23.8%	4.3%	3.7%	
郡山地区	130	78	9	11	2	6	11	31	23	19	39	14	30	9	5	
	-	60.0%	6.9%	8.5%	1.5%	4.6%	8.5%	23.8%	17.7%	14.6%	30.0%	10.8%	23.1%	6.9%	3.8%	
無回答	9	5	0	0	0	0	2	0	3	0	4	1	0	0	1	
	-	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	

\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(9) 地域住民同士の交流や助け合い

問 16 あなたは、地域住民同士の交流や助け合いについて、どのようにお考えですか。  
 (それぞれ○を1つだけ)

1 そう思う                      2 ややそう思う                      3 どちらとも言えない  
 4 あまりそう思わない      5 まったくそう思わない

①地域で助け合うことは大切であり、そのためにも日頃の交流が必要

「そう思う」が6地区で最も多く、「そう思う」と「ややそう思う」の合計は、すべての地区で6割を超えている。

表 17 地域で助け合うことは大切で、日頃の交流が必要のクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	790	751	375	98	22	40
		100.0%	38.1%	36.2%	18.1%	4.7%	1.1%	1.9%
居住地 地域別	中央地区	539	166	203	129	27	7	7
		100.0%	30.8%	37.7%	23.9%	5.0%	1.3%	1.3%
	谷山地区	389	140	154	67	16	7	5
		100.0%	36.0%	39.6%	17.2%	4.1%	1.8%	1.3%
	伊敷地区	230	87	85	39	10	2	7
		100.0%	37.8%	37.0%	17.0%	4.3%	0.9%	3.0%
	吉野地区	202	69	72	38	14	3	6
		100.0%	34.2%	35.6%	18.8%	6.9%	1.5%	3.0%
	桜島地区	125	64	37	17	6	1	0
		100.0%	51.2%	29.6%	13.6%	4.8%	0.8%	0.0%
	吉田地区	134	55	52	18	4	0	5
		100.0%	41.0%	38.8%	13.4%	3.0%	0.0%	3.7%
	喜入地区	154	72	46	25	7	2	2
		100.0%	46.8%	29.9%	16.2%	4.5%	1.3%	1.3%
松元地区	164	63	59	26	11	0	5	
	100.0%	38.4%	36.0%	15.9%	6.7%	0.0%	3.0%	
郡山地区	130	72	41	13	3	0	1	
	100.0%	55.4%	31.5%	10.0%	2.3%	0.0%	0.8%	
無回答	9	2	2	3	0	0	2	
	100.0%	22.2%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	22.2%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

②困ったことがあれば地域で助け合うべきだと思うが、日頃の交流はしたくない

「どちらとも言えない」が郡山地区以外の地区で最も多かった。

表 18 地域で助け合うべきだと思うが、日頃の交流はしたくないのクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	198	546	723	430	138	41
		100.0%	9.5%	26.3%	34.8%	20.7%	6.6%	2.0%
居住地域別	中央地区	539	57	170	186	91	27	8
		100.0%	10.6%	31.5%	34.5%	16.9%	5.0%	1.5%
	谷山地区	389	40	98	152	76	20	3
		100.0%	10.3%	25.2%	39.1%	19.5%	5.1%	0.8%
	伊敷地区	230	21	61	73	51	18	6
		100.0%	9.1%	26.5%	31.7%	22.2%	7.8%	2.6%
	吉野地区	202	17	56	69	41	12	7
		100.0%	8.4%	27.7%	34.2%	20.3%	5.9%	3.5%
	桜島地区	125	8	23	45	34	12	3
		100.0%	6.4%	18.4%	36.0%	27.2%	9.6%	2.4%
	吉田地区	134	13	33	47	27	12	2
		100.0%	9.7%	24.6%	35.1%	20.1%	9.0%	1.5%
	喜入地区	154	9	31	65	33	12	4
		100.0%	5.8%	20.1%	42.2%	21.4%	7.8%	2.6%
松元地区	164	21	41	49	40	11	2	
	100.0%	12.8%	25.0%	29.9%	24.4%	6.7%	1.2%	
郡山地区	130	12	30	34	36	14	4	
	100.0%	9.2%	23.1%	26.2%	27.7%	10.8%	3.1%	
無回答	9	0	3	3	1	0	2	
	100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	11.1%	0.0%	22.2%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

③困ったことがあれば行政や関係団体等が支援すべきなので、日頃の交流は必要ない

「どちらとも言えない」が5地区で最も多かった。また、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は、すべての地区で4割を超えている。

表19 困りごとは行政等が支援すべきなので、日頃の交流は必要ないのクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	99	237	704	723	271	42
		100.0%	4.8%	11.4%	33.9%	34.8%	13.1%	2.0%
居住地域別	中央地区	539	29	64	177	196	63	10
		100.0%	5.4%	11.9%	32.8%	36.4%	11.7%	1.9%
	谷山地区	389	21	42	140	136	46	4
		100.0%	5.4%	10.8%	36.0%	35.0%	11.8%	1.0%
	伊敷地区	230	8	31	70	83	29	9
		100.0%	3.5%	13.5%	30.4%	36.1%	12.6%	3.9%
	吉野地区	202	9	27	70	65	25	6
		100.0%	4.5%	13.4%	34.7%	32.2%	12.4%	3.0%
	桜島地区	125	4	15	42	38	25	1
		100.0%	3.2%	12.0%	33.6%	30.4%	20.0%	0.8%
	吉田地区	134	10	13	46	38	24	3
		100.0%	7.5%	9.7%	34.3%	28.4%	17.9%	2.2%
	喜入地区	154	3	13	61	56	17	4
		100.0%	1.9%	8.4%	39.6%	36.4%	11.0%	2.6%
松元地区	164	10	16	54	64	19	1	
	100.0%	6.1%	9.8%	32.9%	39.0%	11.6%	0.6%	
郡山地区	130	5	15	40	45	23	2	
	100.0%	3.8%	11.5%	30.8%	34.6%	17.7%	1.5%	
無回答	9	0	1	4	2	0	2	
	100.0%	0.0%	11.1%	44.4%	22.2%	0.0%	22.2%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

④心身の不自由な人々の考えや意見を聞いてみたい

「どちらとも言えない」が6地区で最も多かった。また、「そう思う」と「ややそう思う」の合計は、すべての地区で4割を超えている。

表20 心身の不自由な人々の考えや意見を聞いてみたいのクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	335	681	744	223	40	53
		100.0%	16.1%	32.8%	35.8%	10.7%	1.9%	2.6%
居住地域別	中央地区	539	73	187	193	62	13	11
		100.0%	13.5%	34.7%	35.8%	11.5%	2.4%	2.0%
	谷山地区	389	56	124	158	40	4	7
		100.0%	14.4%	31.9%	40.6%	10.3%	1.0%	1.8%
	伊敷地区	230	43	84	72	21	3	7
		100.0%	18.7%	36.5%	31.3%	9.1%	1.3%	3.0%
	吉野地区	202	29	56	70	37	5	5
		100.0%	14.4%	27.7%	34.7%	18.3%	2.5%	2.5%
	桜島地区	125	20	37	48	14	4	2
		100.0%	16.0%	29.6%	38.4%	11.2%	3.2%	1.6%
	吉田地区	134	28	49	43	7	2	5
		100.0%	20.9%	36.6%	32.1%	5.2%	1.5%	3.7%
	喜入地区	154	28	46	59	14	2	5
		100.0%	18.2%	29.9%	38.3%	9.1%	1.3%	3.2%
松元地区	164	24	48	69	17	4	2	
	100.0%	14.6%	29.3%	42.1%	10.4%	2.4%	1.2%	
郡山地区	130	33	49	28	11	3	6	
	100.0%	25.4%	37.7%	21.5%	8.5%	2.3%	4.6%	
無回答	9	1	1	4	0	0	3	
	100.0%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	33.3%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

⑤生活困窮者が抱えている生活上の課題が知りたい

「どちらとも言えない」がすべての地区で最も多かった。また、「そう思う」と「ややそう思う」の合計は、すべての地区で3割を超えている。

表2-1 生活困窮者が抱えている生活上の課題が知りたいのクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	241	557	811	332	75	60
		100.0%	11.6%	26.8%	39.1%	16.0%	3.6%	2.9%
居住地域別	中央地区	539	66	140	207	90	22	14
		100.0%	12.2%	26.0%	38.4%	16.7%	4.1%	2.6%
	谷山地区	389	43	106	156	62	13	9
		100.0%	11.1%	27.2%	40.1%	15.9%	3.3%	2.3%
	伊敷地区	230	27	74	78	34	8	9
		100.0%	11.7%	32.2%	33.9%	14.8%	3.5%	3.9%
	吉野地区	202	19	50	69	47	9	8
		100.0%	9.4%	24.8%	34.2%	23.3%	4.5%	4.0%
	桜島地区	125	16	28	50	23	5	3
		100.0%	12.8%	22.4%	40.0%	18.4%	4.0%	2.4%
	吉田地区	134	18	40	51	17	5	3
		100.0%	13.4%	29.9%	38.1%	12.7%	3.7%	2.2%
	喜入地区	154	17	40	66	25	2	4
		100.0%	11.0%	26.0%	42.9%	16.2%	1.3%	2.6%
松元地区	164	16	43	75	21	8	1	
	100.0%	9.8%	26.2%	45.7%	12.8%	4.9%	0.6%	
郡山地区	130	19	34	56	12	3	6	
	100.0%	14.6%	26.2%	43.1%	9.2%	2.3%	4.6%	
無回答	9	0	2	3	1	0	3	
	100.0%	0.0%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	33.3%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

⑥身寄りのない人のためのボランティア活動に参加したい

「どちらとも言えない」がすべての地区で最も多かった。また、「そう思う」と「ややそう思う」の合計、及び「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は、いずれも2割～3割となっており、大きな差異は見られなかった。

表 2 2 身寄りのない人のためのボランティア活動に参加したいのクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	130	422	941	431	102	50
		100.0%	6.3%	20.3%	45.3%	20.8%	4.9%	2.4%
居住地別	中央地区	539	34	94	244	118	40	9
		100.0%	6.3%	17.4%	45.3%	21.9%	7.4%	1.7%
	谷山地区	389	18	76	196	79	15	5
		100.0%	4.6%	19.5%	50.4%	20.3%	3.9%	1.3%
	伊敷地区	230	14	55	99	45	10	7
		100.0%	6.1%	23.9%	43.0%	19.6%	4.3%	3.0%
	吉野地区	202	8	44	79	53	8	10
		100.0%	4.0%	21.8%	39.1%	26.2%	4.0%	5.0%
	桜島地区	125	10	31	50	26	6	2
		100.0%	8.0%	24.8%	40.0%	20.8%	4.8%	1.6%
	吉田地区	134	6	36	56	25	6	5
		100.0%	4.5%	26.9%	41.8%	18.7%	4.5%	3.7%
	喜入地区	154	12	34	71	27	5	5
		100.0%	7.8%	22.1%	46.1%	17.5%	3.2%	3.2%
松元地区	164	12	24	84	36	7	1	
	100.0%	7.3%	14.6%	51.2%	22.0%	4.3%	0.6%	
郡山地区	130	15	26	59	22	5	3	
	100.0%	11.5%	20.0%	45.4%	16.9%	3.8%	2.3%	
無回答	9	1	2	3	0	0	3	
	100.0%	11.1%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

⑦地域で困っている人や助け合いの方法についての情報が欲しい

「どちらとも言えない」が吉田地区以外の地区で最も多かった。また、「そう思う」と「ややそう思う」の合計は、すべての地区で3割を超えている。

表23 地域で困っている人や助け合いの方法についての情報が欲しいのクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	224	644	807	300	53	48
		100.0%	10.8%	31.0%	38.9%	14.5%	2.6%	2.3%
居住地域別	中央地区	539	54	172	204	83	16	10
		100.0%	10.0%	31.9%	37.8%	15.4%	3.0%	1.9%
	谷山地区	389	39	116	167	49	13	5
		100.0%	10.0%	29.8%	42.9%	12.6%	3.3%	1.3%
	伊敷地区	230	24	68	94	30	7	7
		100.0%	10.4%	29.6%	40.9%	13.0%	3.0%	3.0%
	吉野地区	202	20	55	76	34	9	8
		100.0%	9.9%	27.2%	37.6%	16.8%	4.5%	4.0%
	桜島地区	125	22	31	44	22	4	2
		100.0%	17.6%	24.8%	35.2%	17.6%	3.2%	1.6%
	吉田地区	134	14	59	40	17	1	3
		100.0%	10.4%	44.0%	29.9%	12.7%	0.7%	2.2%
	喜入地区	154	17	49	62	21	1	4
		100.0%	11.0%	31.8%	40.3%	13.6%	0.6%	2.6%
松元地区	164	15	48	70	29	1	1	
	100.0%	9.1%	29.3%	42.7%	17.7%	0.6%	0.6%	
郡山地区	130	19	44	46	15	1	5	
	100.0%	14.6%	33.8%	35.4%	11.5%	0.8%	3.8%	
無回答	9	0	2	4	0	0	3	
	100.0%	0.0%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	33.3%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

⑧地域福祉活動への参加を求められたら協力する

「どちらとも言えない」が6地区で最も多かった。また、「そう思う」と「ややそう思う」の合計は、すべての地区で4割を超えている。

表24 地域福祉活動への参加を求められたら協力するのクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	282	694	770	224	59	47
		100.0%	13.6%	33.4%	37.1%	10.8%	2.8%	2.3%
居住地域別	中央地区	539	65	167	207	71	21	8
		100.0%	12.1%	31.0%	38.4%	13.2%	3.9%	1.5%
	谷山地区	389	48	141	146	40	8	6
		100.0%	12.3%	36.2%	37.5%	10.3%	2.1%	1.5%
	伊敷地区	230	30	83	81	21	8	7
		100.0%	13.0%	36.1%	35.2%	9.1%	3.5%	3.0%
	吉野地区	202	19	67	84	15	8	9
		100.0%	9.4%	33.2%	41.6%	7.4%	4.0%	4.5%
	桜島地区	125	29	40	33	20	2	1
		100.0%	23.2%	32.0%	26.4%	16.0%	1.6%	0.8%
	吉田地区	134	23	42	51	11	4	3
		100.0%	17.2%	31.3%	38.1%	8.2%	3.0%	2.2%
	喜入地区	154	24	52	57	14	2	5
		100.0%	15.6%	33.8%	37.0%	9.1%	1.3%	3.2%
松元地区	164	21	52	63	23	4	1	
	100.0%	12.8%	31.7%	38.4%	14.0%	2.4%	0.6%	
郡山地区	130	23	47	45	9	2	4	
	100.0%	17.7%	36.2%	34.6%	6.9%	1.5%	3.1%	
無回答	9	0	3	3	0	0	3	
	100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

⑨外国人も地域社会に溶け込むことができる

「ややそう思う」が5地区で最も多かった。また、「そう思う」と「ややそう思う」の合計は、吉野地区と松元地区以外の地区では5割を超えている。

表25 外国人も地域社会に溶け込むことができるのクロス集計

		サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	444	673	679	172	52	56
		100.0%	21.4%	32.4%	32.7%	8.3%	2.5%	2.7%
居住地別	中央地区	539	126	178	175	38	12	10
		100.0%	23.4%	33.0%	32.5%	7.1%	2.2%	1.9%
	谷山地区	389	81	127	132	30	14	5
		100.0%	20.8%	32.6%	33.9%	7.7%	3.6%	1.3%
	伊敷地区	230	53	79	69	18	1	10
		100.0%	23.0%	34.3%	30.0%	7.8%	0.4%	4.3%
	吉野地区	202	39	60	73	22	0	8
		100.0%	19.3%	29.7%	36.1%	10.9%	0.0%	4.0%
	桜島地区	125	25	45	34	11	8	2
		100.0%	20.0%	36.0%	27.2%	8.8%	6.4%	1.6%
	吉田地区	134	29	39	46	10	5	5
		100.0%	21.6%	29.1%	34.3%	7.5%	3.7%	3.7%
	喜入地区	154	27	53	52	12	5	5
		100.0%	17.5%	34.4%	33.8%	7.8%	3.2%	3.2%
松元地区	164	32	49	62	14	4	3	
	100.0%	19.5%	29.9%	37.8%	8.5%	2.4%	1.8%	
郡山地区	130	32	40	35	15	3	5	
	100.0%	24.6%	30.8%	26.9%	11.5%	2.3%	3.8%	
無回答	9	0	3	1	2	0	3	
	100.0%	0.0%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	33.3%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

(10)鹿児島市の福祉施策で力を入れるべきこと

問 17 あなたは、鹿児島市の福祉施策について、今後、何に力を入れるべきとお考えですか。  
 (複数選択可)

1 福祉に関する相談窓口の充実	2 福祉に関する情報提供や案内の充実
3 地域で支えあう仕組みづくり	4 福祉に関する研修・人材育成
5 福祉施策の充実	6 福祉教育
7 子育て支援	8 高齢者福祉
9 介護予防	10 健康づくり
11 障害者福祉	12 認知症の方への支援
13 ひとり親家庭への支援	14 引きこもりの方への支援
15 生活困窮者への支援	16 ボランティア活動への支援
17 保健・医療サービスの充実	
18 その他 ( )	

「保健・医療サービスの充実」がすべての地区で3割を超えている。特に中央地区、吉野地区、吉田地区では4割以上となっている。また、「福祉に関する情報提供や案内の充実」は、7地区で3割を超えている。

表 2 6 鹿児島市の福祉施策で力を入れるべきことのクロス集計

	サンプル数	福祉に関する相談窓口の充実	福祉に関する情報提供や案内の充実	地域で支えあう仕組みづくり	福祉に関する研修・人材育成	福祉施設の充実	福祉教育	子育て支援	高齢者福祉	介護予防	健康づくり	障害者福祉	認知症の方への支援	ひとり親家庭への支援	引きこもりの方への支援	生活困窮者への支援	ボランティア活動への支援	保健・医療サービスの充実	その他	無回答
(上段:人、下段:%)																				
合計	2,076	645	676	419	384	402	191	693	640	428	459	396	467	455	285	466	273	786	43	58
	-	31.1%	32.6%	20.2%	18.5%	19.4%	9.2%	33.4%	30.8%	20.6%	22.1%	19.1%	22.5%	21.9%	13.7%	22.4%	13.2%	37.9%	2.1%	2.8%
中央地区	539	167	184	85	108	103	48	180	156	112	123	98	124	117	79	125	84	219	10	8
	-	31.0%	34.1%	15.8%	20.0%	19.1%	8.9%	33.4%	28.9%	20.8%	22.8%	18.2%	23.0%	21.7%	14.7%	23.2%	15.6%	40.6%	1.9%	1.5%
谷山地区	389	125	122	81	76	74	29	156	122	79	72	72	88	89	52	87	45	141	8	8
	-	32.1%	31.4%	20.8%	19.5%	19.0%	7.5%	40.1%	31.4%	20.3%	18.5%	18.5%	22.6%	22.9%	13.4%	22.4%	11.6%	36.2%	2.1%	2.1%
伊敷地区	230	82	87	47	42	42	28	77	69	40	50	52	50	51	35	54	40	83	7	9
	-	35.7%	37.8%	20.4%	18.3%	18.3%	12.2%	33.5%	30.0%	17.4%	21.7%	22.6%	21.7%	22.2%	15.2%	23.5%	17.4%	36.1%	3.0%	3.9%
吉野地区	202	55	65	29	29	32	16	62	56	40	41	46	47	34	22	38	22	82	1	10
	-	27.2%	32.2%	14.4%	14.4%	15.8%	7.9%	30.7%	27.7%	19.8%	20.3%	22.8%	23.3%	16.8%	10.9%	18.8%	10.9%	40.6%	0.5%	5.0%
桜島地区	125	33	41	37	31	26	13	32	42	33	23	26	26	30	17	32	16	43	4	3
	-	26.4%	32.8%	29.6%	24.8%	20.8%	10.4%	25.6%	33.6%	26.4%	18.4%	20.8%	20.8%	24.0%	13.6%	25.6%	12.8%	34.4%	3.2%	2.4%
吉田地区	134	46	46	32	26	36	13	36	54	28	32	21	23	29	16	33	15	61	2	7
	-	34.3%	34.3%	23.9%	19.4%	26.9%	9.7%	26.9%	40.3%	20.9%	23.9%	15.7%	17.2%	21.6%	11.9%	24.6%	11.2%	45.5%	1.5%	5.2%
喜入地区	154	54	48	35	23	29	11	41	45	30	43	20	31	32	19	29	20	49	2	5
	-	35.1%	31.2%	22.7%	14.9%	18.8%	7.1%	26.6%	29.2%	19.5%	27.9%	13.0%	20.1%	20.8%	12.3%	18.8%	13.0%	31.8%	1.3%	3.2%
松元地区	164	43	46	37	25	27	19	65	50	35	40	35	40	40	26	34	19	53	5	6
	-	26.2%	28.0%	22.6%	15.2%	16.5%	11.6%	39.6%	30.5%	21.3%	24.4%	21.3%	24.4%	24.4%	15.9%	20.7%	11.6%	32.3%	3.0%	3.7%
郡山地区	130	38	35	34	23	30	13	43	43	29	33	26	35	30	17	32	11	50	3	2
	-	29.2%	26.9%	26.2%	17.7%	23.1%	10.0%	33.1%	33.1%	22.3%	25.4%	20.0%	26.9%	23.1%	13.1%	24.6%	8.5%	38.5%	2.3%	1.5%
無回答	9	2	2	2	1	3	1	1	3	2	2	0	3	3	2	2	1	5	1	0
	-	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	22.2%	0.0%	33.3%	33.3%	22.2%	22.2%	11.1%	55.6%	11.1%	0.0%

注:各属性で最も回答が多い

### 3. あなたがお住まいの地域(おおむね小学校区くらいの範囲)について

#### (1) 地域への愛着

問 18 あなたは、お住まいの地域に愛着を感じていますか。(○は1つだけ)				
1 とても感じている	2 少し感じている	3 どちらともいえない		
4 あまり感じていない	5 全く感じていない			

「とても感じている」と「少し感じている」の合計は、松元地区以外の地区で、7割を超えている。

表 27 地域への愛着のクロス集計

		サンプル数	とても感じている	少し感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	全く感じていない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	672	841	377	132	41	13
		100.0%	32.4%	40.5%	18.2%	6.4%	2.0%	0.6%
居住地 地域別	中央地区	539	187	210	99	32	10	1
		100.0%	34.7%	39.0%	18.4%	5.9%	1.9%	0.2%
	谷山地区	389	124	159	70	25	9	2
		100.0%	31.9%	40.9%	18.0%	6.4%	2.3%	0.5%
	伊敷地区	230	61	106	41	14	5	3
		100.0%	26.5%	46.1%	17.8%	6.1%	2.2%	1.3%
	吉野地区	202	68	77	36	15	4	2
		100.0%	33.7%	38.1%	17.8%	7.4%	2.0%	1.0%
	桜島地区	125	55	35	24	6	4	1
		100.0%	44.0%	28.0%	19.2%	4.8%	3.2%	0.8%
	吉田地区	134	39	60	23	8	2	2
		100.0%	29.1%	44.8%	17.2%	6.0%	1.5%	1.5%
	喜入地区	154	53	60	29	9	3	0
		100.0%	34.4%	39.0%	18.8%	5.8%	1.9%	0.0%
松元地区	164	38	73	32	17	3	1	
	100.0%	23.2%	44.5%	19.5%	10.4%	1.8%	0.6%	
郡山地区	130	46	59	18	5	1	1	
	100.0%	35.4%	45.4%	13.8%	3.8%	0.8%	0.8%	
無回答	9	1	2	5	1	0	0	
	100.0%	11.1%	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

(2) 今後も現在の地域に住み続けたいか

問 19 あなたは、今後も現在の地域に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)		
1 住みたい	2 どちらともいえない	3 住みたくない

「住みたい」がすべての地区で5割を超えている。また、「住みたくない」が桜島地区のみ1割を超えている。

表 2 8 今後も現在の地域に住み続けたいかのクロス集計

		サンプル数	住みたい	どちらともいえない	住みたくない	無回答
(上段:人、下段:%)						
合計		2,076	1,179	798	91	8
		100.0%	<u>56.8%</u>	38.4%	4.4%	0.4%
居住地域別	中央地区	539	317	204	17	1
		100.0%	<u>58.8%</u>	37.8%	3.2%	0.2%
	谷山地区	389	224	155	9	1
		100.0%	<u>57.6%</u>	39.8%	2.3%	0.3%
	伊敷地区	230	129	87	12	2
		100.0%	<u>56.1%</u>	37.8%	5.2%	0.9%
	吉野地区	202	118	78	5	1
		100.0%	<u>58.4%</u>	38.6%	2.5%	0.5%
	桜島地区	125	65	41	19	0
		100.0%	<u>52.0%</u>	32.8%	15.2%	0.0%
	吉田地区	134	72	55	7	0
		100.0%	<u>53.7%</u>	41.0%	5.2%	0.0%
	喜入地区	154	93	53	7	1
		100.0%	<u>60.4%</u>	34.4%	4.5%	0.6%
松元地区	164	87	67	8	2	
	100.0%	<u>53.0%</u>	40.9%	4.9%	1.2%	
郡山地区	130	70	54	6	0	
	100.0%	<u>53.8%</u>	41.5%	4.6%	0.0%	
無回答	9	4	4	1	0	
	100.0%	<u>44.4%</u>	<u>44.4%</u>	11.1%	0.0%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

### (3) 地域活動への参加の有無

問 20	あなたは、地域の活動に参加していますか。(○は1つだけ)
1	参加している → (問 21、22 へ)
2	以前参加していたが、最近、参加していない → (問 23 へ)
3	参加していない → (問 24、25 へ)

「参加している」が、桜島地区で5割を超えている。一方、「以前参加していたが、最近、参加していない」と「参加していない」の合計は、中央地区、谷山地区、伊敷地区、吉野地区、吉田地区で7割を超えている。

表 29 地域活動に参加の有無

		サンプル数	参加している	以前参加していたが、最近、参加していない	参加していない	無回答
(上段:人、下段:%)						
合計		2,076	584	545	920	27
		100.0%	28.1%	26.3%	44.3%	1.3%
居住地 地域別	中央地区	539	104	130	303	2
		100.0%	19.3%	24.1%	56.2%	0.4%
	谷山地区	389	82	105	197	5
		100.0%	21.1%	27.0%	50.6%	1.3%
	伊敷地区	230	64	62	103	1
		100.0%	27.8%	27.0%	44.8%	0.4%
	吉野地区	202	41	58	99	4
		100.0%	20.3%	28.7%	49.0%	2.0%
	桜島地区	125	64	34	23	4
		100.0%	51.2%	27.2%	18.4%	3.2%
	吉田地区	134	36	49	45	4
		100.0%	26.9%	36.6%	33.6%	3.0%
	喜入地区	154	66	42	42	4
		100.0%	42.9%	27.3%	27.3%	2.6%
松元地区	164	67	37	59	1	
	100.0%	40.9%	22.6%	36.0%	0.6%	
郡山地区	130	60	26	43	1	
	100.0%	46.2%	20.0%	33.1%	0.8%	
無回答	9	0	2	6	1	
	100.0%	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

(4) 地域活動の内容

問 21 問 20 で「1 参加している」と答えられた方にお聞きします。  
 それはどのような活動ですか。(複数選択可)

1 町内会・コミュニティ協議会等の役員活動	2 防災・防犯・交通安全のための活動
3 講習会や文化活動	4 清掃活動などのボランティア
5 高齢者の見守りやお世話など	6 障害者の見守りやお手伝いなど
7 子育て支援活動	8 生活困窮者やホームレスの方の支援
9 その他 ( )	

「清掃活動などのボランティア」が7地区で最も多く6割を超えている。また、「町内会・コミュニティ協議会等の役員活動」もすべての地区で4割を超えている。

表 3 0 地域活動の内容のクロス集計

		サンプル数	町内会・コミュニティ協議会等の役員活動	防災・防犯・交通安全のための活動	講習会や文化活動	清掃活動などのボランティア	高齢者の見守りやお世話など	障害者の見守りやお手伝いなど	子育て支援活動	生活困窮者やホームレスの方の支援	その他	無回答
(上段:人、下段:%)												
合計		584	312	76	80	371	38	11	36	4	23	6
		-	53.4%	13.0%	13.7%	63.5%	6.5%	1.9%	6.2%	0.7%	3.9%	1.0%
居住地域別	中央地区	104	72	7	8	43	3	3	6	0	8	0
		-	69.2%	6.7%	7.7%	41.3%	2.9%	2.9%	5.8%	0.0%	7.7%	0.0%
	谷山地区	82	52	11	12	53	5	0	2	1	3	2
		-	63.4%	13.4%	14.6%	64.6%	6.1%	0.0%	2.4%	1.2%	3.7%	2.4%
	伊敷地区	64	38	10	7	31	2	0	4	1	6	2
		-	59.4%	15.6%	10.9%	48.4%	3.1%	0.0%	6.3%	1.6%	9.4%	3.1%
	吉野地区	41	21	6	3	28	2	1	2	0	0	0
		-	51.2%	14.6%	7.3%	68.3%	4.9%	2.4%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	桜島地区	64	27	8	11	48	6	2	4	0	2	2
		-	42.2%	12.5%	17.2%	75.0%	9.4%	3.1%	6.3%	0.0%	3.1%	3.1%
	吉田地区	36	16	7	6	26	4	0	2	0	1	0
		-	44.4%	19.4%	16.7%	72.2%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%
	喜入地区	66	28	15	13	46	5	1	7	1	1	0
		-	42.4%	22.7%	19.7%	69.7%	7.6%	1.5%	10.6%	1.5%	1.5%	0.0%
松元地区	67	29	4	11	53	3	1	5	0	0	0	
	-	43.3%	6.0%	16.4%	79.1%	4.5%	1.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
郡山地区	60	29	8	9	43	8	3	4	1	2	0	
	-	48.3%	13.3%	15.0%	71.7%	13.3%	5.0%	6.7%	1.7%	3.3%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(5) 地域活動に参加している理由

問 22 問 20 で「1 参加している」と答えられた方にお聞きします。  
 参加している理由は次のうちどれですか。(複数選択可)  
 1 地域を住みやすいものにしたいから      2 社会や他人のためになる活動がしたいから  
 3 知識や技術を身につけたいから          4 新たに友人や知人を得たいから  
 5 持ち回りの当番制となっていたから      6 友人に誘われたから  
 7 その他 ( )

「地域を住みやすいものにしたいから」が、谷山地区、吉野地区、桜島地区、吉田地区、喜入地区、松元地区、郡山地区で5割を超えている。

表 3 1 地域活動に参加している理由のクロス集計

		サンプル数	い地域から住みやすいものにしたい	が社会や他人のためになる活動	ら知識や技術を身につけたいか	ら新たに友人や知人を得たいか	た持ち回りの当番制となっていたから	友人に誘われたから	その他	無回答
(上段: 人、下段: %)										
合計		584	342	122	27	54	274	24	35	12
		-	58.6%	20.9%	4.6%	9.2%	46.9%	4.1%	6.0%	2.1%
居住地域別	中央地区	104	44	14	5	7	57	5	11	1
		-	42.3%	13.5%	4.8%	6.7%	54.8%	4.8%	10.6%	1.0%
	谷山地区	82	50	20	5	11	43	3	3	2
		-	61.0%	24.4%	6.1%	13.4%	52.4%	3.7%	3.7%	2.4%
	伊敷地区	64	31	13	0	6	31	1	7	2
		-	48.4%	20.3%	0.0%	9.4%	48.4%	1.6%	10.9%	3.1%
	吉野地区	41	24	9	1	3	21	1	2	0
		-	58.5%	22.0%	2.4%	7.3%	51.2%	2.4%	4.9%	0.0%
	桜島地区	64	43	12	3	1	21	4	2	3
		-	67.2%	18.8%	4.7%	1.6%	32.8%	6.3%	3.1%	4.7%
	吉田地区	36	23	14	2	6	15	1	1	1
		-	63.9%	38.9%	5.6%	16.7%	41.7%	2.8%	2.8%	2.8%
	喜入地区	66	47	12	4	12	23	5	3	0
		-	71.2%	18.2%	6.1%	18.2%	34.8%	7.6%	4.5%	0.0%
松元地区	67	40	13	2	3	30	2	4	3	
	-	59.7%	19.4%	3.0%	4.5%	44.8%	3.0%	6.0%	4.5%	
郡山地区	60	40	15	5	5	33	2	2	0	
	-	66.7%	25.0%	8.3%	8.3%	55.0%	3.3%	3.3%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

(6) 地域活動に現在参加していない理由

問 23 問 20 で「2 以前参加していたが、最近、参加していない」と答えられた方にお聞きします。それはなぜですか。(複数選択可)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 忙しくて時間がなくなった   | 2 健康面・体力面に不安がでてきた     |
| 3 参加するきっかけがなくなった | 4 一緒に参加する人がいなくなった     |
| 5 興味がなくなった       | 6 どのような活動があるか分からなくなった |
| 7 その他 ( )        |                       |

「参加するきっかけがなくなった」が、吉野地区と吉田地区以外の地区で最も多かった。また、「忙しくて時間がなくなった」が、すべての地区で3割を超えている。

表 3 2 地域活動に現在参加していない理由のクロス集計

	サンプル数	忙しくて時間がなくなった	健康面・体力面に不安がでてきた	参加するきっかけがなくなった	一緒に参加する人がいなくなった	興味がなくなった	どのような活動があるか分からなくなった	その他	無回答	
(上段: 人、下段: %)										
合計	545	226	125	251	47	40	43	53	7	
	-	41.5%	22.9%	46.1%	8.6%	7.3%	7.9%	9.7%	1.3%	
居住地域別	中央地区	130	54	22	65	13	8	12	13	1
		-	41.5%	16.9%	50.0%	10.0%	6.2%	9.2%	10.0%	0.8%
	谷山地区	105	48	20	52	9	7	9	9	1
		-	45.7%	19.0%	49.5%	8.6%	6.7%	8.6%	8.6%	1.0%
	伊敷地区	62	23	12	29	5	3	3	5	2
		-	37.1%	19.4%	46.8%	8.1%	4.8%	4.8%	8.1%	3.2%
	吉野地区	58	24	12	22	4	7	8	7	0
		-	41.4%	20.7%	37.9%	6.9%	12.1%	13.8%	12.1%	0.0%
	桜島地区	34	13	13	16	3	2	2	2	0
		-	38.2%	38.2%	47.1%	8.8%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%
	吉田地区	49	21	20	19	4	3	6	2	2
		-	42.9%	40.8%	38.8%	8.2%	6.1%	12.2%	4.1%	4.1%
	喜入地区	42	16	12	19	5	4	1	8	0
		-	38.1%	28.6%	45.2%	11.9%	9.5%	2.4%	19.0%	0.0%
松元地区	37	14	9	16	3	4	1	4	0	
	-	37.8%	24.3%	43.2%	8.1%	10.8%	2.7%	10.8%	0.0%	
郡山地区	26	12	5	13	1	2	0	2	1	
	-	46.2%	19.2%	50.0%	3.8%	7.7%	0.0%	7.7%	3.8%	
無回答	2	1	0	0	0	0	1	1	0	
	-	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

(7) 地域活動に参加していない理由

問 24 問 20 で「3 参加していない」と答えられた方にお聞きします。それはなぜですか。

(複数選択可)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1 忙しくて時間がない   | 2 健康面・体力面に不安がある    |
| 3 参加するきっかけがない | 4 一緒に参加する人がいない     |
| 5 興味がない       | 6 どのような活動があるか分からない |
| 7 その他 ( )     |                    |

「忙しくて時間がない」が、桜島地区以外の地区で最も多かった。また、「参加するきっかけがない」が、中央地区、谷山地区、伊敷地区、桜島地区、喜入地区、郡山地区で3割を超えている。

表 3 3 地域活動に参加していない理由のクロス集計

		サンプル数	忙しくて時間がない	健康面・体力面に不安がある	参加するきっかけがない	一緒に参加する人がいない	興味がない	どのような活動があるか分からない	その他	無回答
(上段: 人、下段: %)										
合計		920	384	156	303	120	188	320	64	31
		-	41.7%	17.0%	32.9%	13.0%	20.4%	34.8%	7.0%	3.4%
居住地域別	中央地区	303	131	49	109	45	57	128	20	7
		-	43.2%	16.2%	36.0%	14.9%	18.8%	42.2%	6.6%	2.3%
	谷山地区	197	81	27	68	26	48	64	10	9
		-	41.1%	13.7%	34.5%	13.2%	24.4%	32.5%	5.1%	4.6%
	伊敷地区	103	39	20	33	11	26	35	4	1
		-	37.9%	19.4%	32.0%	10.7%	25.2%	34.0%	3.9%	1.0%
	吉野地区	99	40	13	26	7	26	30	11	4
		-	40.4%	13.1%	26.3%	7.1%	26.3%	30.3%	11.1%	4.0%
	桜島地区	23	7	10	9	6	3	5	2	1
		-	30.4%	43.5%	39.1%	26.1%	13.0%	21.7%	8.7%	4.3%
	吉田地区	45	22	9	11	10	10	13	4	3
		-	48.9%	20.0%	24.4%	22.2%	22.2%	28.9%	8.9%	6.7%
	喜入地区	42	14	10	14	5	6	12	4	1
		-	33.3%	23.8%	33.3%	11.9%	14.3%	28.6%	9.5%	2.4%
松元地区	59	26	13	16	6	9	18	6	3	
	-	44.1%	22.0%	27.1%	10.2%	15.3%	30.5%	10.2%	5.1%	
郡山地区	43	22	4	14	3	3	14	2	1	
	-	51.2%	9.3%	32.6%	7.0%	7.0%	32.6%	4.7%	2.3%	
無回答	6	2	1	3	1	0	1	1	1	
	-	33.3%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	

\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

(8) どうすれば地域活動に参加しやすくなるか

問 25 問 20 で「3 参加していない」と答えられた方にお聞きします。どのようなことがあれば参加しやすくなると思いますか。(複数選択可)

- 1 活動の情報が入手しやすくなること
- 2 定期的でなくても参加できること
- 3 体力的・精神的な負担が少ないこと
- 4 一人でも参加しやすいこと
- 5 地域の人から積極的な誘いがあること
- 6 家族や友人、仲間と参加しやすいこと
- 7 参加しようと思わない
- 8 その他 ( )

「定期的でなくても参加できること」が4地区で最も多く、中央地区、谷山地区、伊敷地区、郡山地区で3割を超えている。

表 3 4 どうすれば地域の活動に参加しやすくなるかのクロス集計

		サンプル数	活動の情報が入手しやすくなること	定期的でなくても参加できること	体力的、精神的な負担が少ないこと	一人でも参加しやすいこと	地域の人から積極的な誘いがあること	家族や友人、仲間と参加しやすいこと	参加しようと思わない	その他	無回答	
(上段:人、下段:%)												
合計		920	246 26.7%	294 32.0%	292 31.7%	248 27.0%	65 7.1%	169 18.4%	198 21.5%	43 4.7%	46 5.0%	
居住地別	中央地区	303	101 33.3%	109 36.0%	106 35.0%	94 31.0%	20 6.6%	49 16.2%	61 20.1%	17 5.6%	8 2.6%	
	谷山地区	197	49 24.9%	64 32.5%	61 31.0%	55 27.9%	15 7.6%	42 21.3%	38 19.3%	7 3.6%	8 4.1%	
	伊敷地区	103	23 22.3%	32 31.1%	32 31.1%	33 32.0%	2 1.9%	18 17.5%	19 18.4%	6 5.8%	5 4.9%	
	吉野地区	99	21 21.2%	26 26.3%	26 26.3%	13 13.1%	4 4.0%	15 15.2%	35 35.4%	2 2.0%	7 7.1%	
	桜島地区	23	4 17.4%	4 17.4%	8 34.8%	5 21.7%	3 13.0%	5 21.7%	4 17.4%	0 0.0%	5 21.7%	
	吉田地区	45	12 26.7%	11 24.4%	11 24.4%	12 26.7%	2 4.4%	9 20.0%	10 22.2%	5 11.1%	4 8.9%	
	喜入地区	42	11 26.2%	12 28.6%	19 45.2%	11 26.2%	6 14.3%	12 28.6%	8 19.0%	1 2.4%	2 4.8%	
	松元地区	59	12 20.3%	17 28.8%	16 27.1%	16 27.1%	4 6.8%	11 18.6%	17 28.8%	4 6.8%	2 3.4%	
	郡山地区	43	12 27.9%	18 41.9%	12 27.9%	8 18.6%	8 18.6%	8 18.6%	5 11.6%	1 2.3%	3 7.0%	
	無回答	6	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(9) ご近所付き合いの程度

問 26	あなたとご近所との日頃のお付き合いはどの程度ですか。(○は1つだけ)
1	困りごとを相談するなど、家族同然の付き合い
2	簡単な頼み事や、物の貸し借りなどをし合う付き合い
3	立ち話や情報交換をし合う付き合い
4	顔を合わせたとき、あいさつをする程度の付き合い
5	ほとんど付き合いがない

「顔を合わせたとき、あいさつをする程度の付き合い」が最も多く、中央地区、谷山地区、伊敷地区、吉野地区、松元地区で5割を超えている。

表 3 5 ご近所付き合いの程度のクロス集計

		サンプル数	族困りごとを相談するなど、家族同然の付き合い	簡単な頼み事や、物の貸し借り	立ち話や情報交換をし合う付き合い	顔を合わせたとき、あいさつをする程度の付き合い	ほとんど付き合いがない	無回答
(上段:人、下段:%)								
合計		2,076	74	150	590	1,071	165	26
		100.0%	3.6%	7.2%	28.4%	51.6%	7.9%	1.3%
居住地別	中央地区	539	17	25	122	313	61	1
		100.0%	3.2%	4.6%	22.6%	58.1%	11.3%	0.2%
	谷山地区	389	4	17	106	221	34	7
		100.0%	1.0%	4.4%	27.2%	56.8%	8.7%	1.8%
	伊敷地区	230	6	14	68	119	20	3
		100.0%	2.6%	6.1%	29.6%	51.7%	8.7%	1.3%
	吉野地区	202	5	15	60	106	14	2
		100.0%	2.5%	7.4%	29.7%	52.5%	6.9%	1.0%
	桜島地区	125	4	16	43	53	6	3
		100.0%	3.2%	12.8%	34.4%	42.4%	4.8%	2.4%
	吉田地区	134	7	13	50	54	7	3
		100.0%	5.2%	9.7%	37.3%	40.3%	5.2%	2.2%
	喜入地区	154	12	18	52	64	7	1
		100.0%	7.8%	11.7%	33.8%	41.6%	4.5%	0.6%
松元地区	164	7	16	47	83	10	1	
	100.0%	4.3%	9.8%	28.7%	50.6%	6.1%	0.6%	
郡山地区	130	12	16	41	54	3	4	
	100.0%	9.2%	12.3%	31.5%	41.5%	2.3%	3.1%	
無回答	9	0	0	1	4	3	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%	11.1%	

\_\_\_\_\_% : 各属性で最も回答が多い

(10)地域で充実している福祉活動

問 27 あなたの地域で充実している福祉活動は何ですか。(複数選択可)

1 住民同士の交流	2 子育て支援	3 高齢者福祉
4 介護予防	5 健康づくり	6 障害者福祉
7 認知症の方への支援	8 ひとり親家庭への支援	9 引きこもりの方への支援
10 生活困窮者への支援	11 青少年の健全育成	12 災害対策
13 防犯対策	14 ボランティア活動	15 分からない
16 その他 ( )		

「分からない」が最も多く、桜島地区と郡山地区以外の地区は、5割を超えている。また、「住民同士の交流」が、桜島地区、喜入地区、郡山地区で2割を超えている。

表 3 6 地域で充実している福祉活動のクロス集計

	サンプル数	住民同士の交流	子育て支援	高齢者福祉	介護予防	健康づくり	障害者福祉	認知症の方への支援	ひとり親家庭への支援	引きこもりの方への支援	生活困窮者への支援	青少年の健全育成	災害対策	防犯対策	ボランティア活動	分からない	その他	無回答
(上段:人、下段:%)																		
合計	2,076	301	136	213	35	157	36	22	20	6	16	95	103	157	86	1,326	25	85
	-	14.5%	6.6%	10.3%	1.7%	7.6%	1.7%	1.1%	1.0%	0.3%	0.8%	4.6%	5.0%	7.6%	4.1%	63.9%	1.2%	4.1%
中央地区	539	56	33	40	7	19	8	3	3	1	4	28	15	40	10	381	8	18
	-	10.4%	6.1%	7.4%	1.3%	3.5%	1.5%	0.6%	0.6%	0.2%	0.7%	5.2%	2.8%	7.4%	1.9%	70.7%	1.5%	3.3%
谷山地区	389	49	23	30	3	26	8	3	2	0	1	14	12	26	11	271	2	12
	-	12.6%	5.9%	7.7%	0.8%	6.7%	2.1%	0.8%	0.5%	0.0%	0.3%	3.6%	3.1%	6.7%	2.8%	69.7%	0.5%	3.1%
伊敷地区	230	22	7	23	2	15	4	2	3	2	3	8	16	21	5	152	5	12
	-	9.6%	3.0%	10.0%	0.9%	6.5%	1.7%	0.9%	1.3%	0.9%	1.3%	3.5%	7.0%	9.1%	2.2%	66.1%	2.2%	5.2%
吉野地区	202	28	13	20	2	8	6	5	1	0	1	7	8	17	7	133	1	10
	-	13.9%	6.4%	9.9%	1.0%	4.0%	3.0%	2.5%	0.5%	0.0%	0.5%	3.5%	4.0%	8.4%	3.5%	65.8%	0.5%	5.0%
桜島地区	125	30	5	23	4	14	1	2	0	0	1	1	18	10	8	58	1	7
	-	24.0%	4.0%	18.4%	3.2%	11.2%	0.8%	1.6%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	14.4%	8.0%	6.4%	46.4%	0.8%	5.6%
吉田地区	134	24	10	16	3	19	1	1	1	0	3	8	3	9	6	75	4	12
	-	17.9%	7.5%	11.9%	2.2%	14.2%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	2.2%	6.0%	2.2%	6.7%	4.5%	56.0%	3.0%	9.0%
喜入地区	154	34	15	26	3	22	4	1	3	1	0	16	14	18	16	79	1	5
	-	22.1%	9.7%	16.9%	1.9%	14.3%	2.6%	0.6%	1.9%	0.6%	0.0%	10.4%	9.1%	11.7%	10.4%	51.3%	0.6%	3.2%
松元地区	164	24	15	13	5	12	1	1	1	1	1	8	7	5	9	109	0	4
	-	14.6%	9.1%	7.9%	3.0%	7.3%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	4.9%	4.3%	3.0%	5.5%	66.5%	0.0%	2.4%
郡山地区	130	33	15	22	6	22	3	4	6	1	2	5	10	11	14	62	3	3
	-	25.4%	11.5%	16.9%	4.6%	16.9%	2.3%	3.1%	4.6%	0.8%	1.5%	3.8%	7.7%	8.5%	10.8%	47.7%	2.3%	2.3%
無回答	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2
	-	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	22.2%

% :各属性で最も回答が多い

(11)地域で不足している福祉活動

問 28 あなたの地域で不足している（今後、充実していく必要がある）福祉活動は何ですか。  
 （複数選択可）

1 住民同士の交流	2 子育て支援	3 高齢者福祉
4 介護予防	5 健康づくり	6 障害者福祉
7 認知症の方への支援	8 ひとり親家庭への支援	9 引きこもりの方への支援
10 生活困窮者への支援	11 青少年の健全育成	12 災害対策
13 防犯対策	14 ボランティア活動	15 分からない
16 その他（		）

「分からない」が最も多く、桜島地区のみ「災害対策」が最も多かった。

表 3 7 地域で不足している福祉活動のクロス集計

	サンプル数	住民同士の交流	子育て支援	高齢者福祉	介護予防	健康づくり	障害者福祉	認知症の方への支援	ひとり親家庭への支援	引きこもりの方への支援	生活困窮者への支援	青少年の健全育成	災害対策	防犯対策	ボランティア活動	分からない	その他	無回答
(上段:人、下段:%)																		
合計	2,076	272	237	356	138	168	144	169	121	91	125	85	346	262	108	992	22	79
	-	13.1%	11.4%	17.1%	6.6%	8.1%	6.9%	8.1%	5.8%	4.4%	6.0%	4.1%	16.7%	12.6%	5.2%	47.8%	1.1%	3.8%
中央地区	539	62	62	80	32	42	36	43	30	22	28	25	80	67	21	283	6	15
	-	11.5%	11.5%	14.8%	5.9%	7.8%	6.7%	8.0%	5.6%	4.1%	5.2%	4.6%	14.8%	12.4%	3.9%	52.5%	1.1%	2.8%
谷山地区	389	41	54	66	31	28	27	29	21	22	26	18	65	54	14	210	2	11
	-	10.5%	13.9%	17.0%	8.0%	7.2%	6.9%	7.5%	5.4%	5.7%	6.7%	4.6%	16.7%	13.9%	3.6%	54.0%	0.5%	2.8%
伊敷地区	230	33	22	37	13	21	12	12	17	7	13	9	33	29	11	110	3	10
	-	14.3%	9.6%	16.1%	5.7%	9.1%	5.2%	5.2%	7.4%	3.0%	5.7%	3.9%	14.3%	12.6%	4.8%	47.8%	1.3%	4.3%
吉野地区	202	25	20	29	3	19	13	14	7	4	13	7	26	21	13	111	0	11
	-	12.4%	9.9%	14.4%	1.5%	9.4%	6.4%	6.9%	3.5%	2.0%	6.4%	3.5%	12.9%	10.4%	6.4%	55.0%	0.0%	5.4%
桜島地区	125	27	14	30	15	12	13	17	9	9	11	5	31	19	14	30	2	9
	-	21.6%	11.2%	24.0%	12.0%	9.6%	10.4%	13.6%	7.2%	7.2%	8.8%	4.0%	24.8%	15.2%	11.2%	24.0%	1.6%	7.2%
吉田地区	134	19	15	29	6	4	7	10	6	1	10	7	23	11	10	51	1	11
	-	14.2%	11.2%	21.6%	4.5%	3.0%	5.2%	7.5%	4.5%	0.7%	7.5%	5.2%	17.2%	8.2%	7.5%	38.1%	0.7%	8.2%
喜入地区	154	26	19	35	16	17	14	17	8	11	9	3	32	17	7	58	1	4
	-	16.9%	12.3%	22.7%	10.4%	11.0%	9.1%	11.0%	5.2%	7.1%	5.8%	1.9%	20.8%	11.0%	4.5%	37.7%	0.6%	2.6%
松元地区	164	20	21	22	9	12	11	11	13	6	7	5	25	21	7	83	4	3
	-	12.2%	12.8%	13.4%	5.5%	7.3%	6.7%	6.7%	7.9%	3.7%	4.3%	3.0%	15.2%	12.8%	4.3%	50.6%	2.4%	1.8%
郡山地区	130	18	10	28	13	12	11	16	9	9	8	6	30	22	11	51	3	3
	-	13.8%	7.7%	21.5%	10.0%	9.2%	8.5%	12.3%	6.9%	6.9%	6.2%	4.6%	23.1%	16.9%	8.5%	39.2%	2.3%	2.3%
無回答	9	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	5	0	2
	-	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	55.6%	0.0%	22.2%

% :各属性で最も回答が多い

(12)福祉活動を充実させるために必要なこと

問 29 あなたの地域の福祉活動について、今後、充実していくためには、何が必要だと思いますか。(複数選択可)

1 地域での人のつながり	2 地域のリーダー
3 福祉に関する相談窓口の充実	4 福祉に関する研修・人材育成
5 福祉に関する情報提供の充実	6 地域の福祉活動を支援する専門員の充実
7 関係団体等のネットワーク	8 分からない
9 その他 ( )	

「地域での人のつながり」が中央地区と吉野地区以外の地区で最も多かった。

表38 福祉活動を充実させるために必要なことのクロス集計

	サンプル数	地域での人のつながり	地域のリーダー	福祉に関する相談窓口の充実	福祉に関する研修・人材育成	福祉に関する情報提供の充実	専門地域の福祉活動を支援する専	関係団体等のネットワーク	分からない	その他	無回答	
(上段:人、下段:%)												
合計	2,076	730	297	439	272	631	436	222	544	32	58	
	-	35.2%	14.3%	21.1%	13.1%	30.4%	21.0%	10.7%	26.2%	1.5%	2.8%	
居住地別	中央地区	539	160	72	108	71	184	102	67	144	8	12
		-	29.7%	13.4%	20.0%	13.2%	34.1%	18.9%	12.4%	26.7%	1.5%	2.2%
	谷山地区	389	132	47	81	53	119	83	33	114	8	8
		-	33.9%	12.1%	20.8%	13.6%	30.6%	21.3%	8.5%	29.3%	2.1%	2.1%
	伊敷地区	230	84	23	54	22	70	53	20	56	6	8
		-	36.5%	10.0%	23.5%	9.6%	30.4%	23.0%	8.7%	24.3%	2.6%	3.5%
	吉野地区	202	59	22	33	19	62	38	24	67	1	9
		-	29.2%	10.9%	16.3%	9.4%	30.7%	18.8%	11.9%	33.2%	0.5%	4.5%
	桜島地区	125	55	36	24	23	30	31	20	19	1	5
		-	44.0%	28.8%	19.2%	18.4%	24.0%	24.8%	16.0%	15.2%	0.8%	4.0%
	吉田地区	134	48	27	29	18	38	33	15	33	1	8
		-	35.8%	20.1%	21.6%	13.4%	28.4%	24.6%	11.2%	24.6%	0.7%	6.0%
	喜入地区	154	69	26	43	20	41	32	12	34	1	3
		-	44.8%	16.9%	27.9%	13.0%	26.6%	20.8%	7.8%	22.1%	0.6%	1.9%
松元地区	164	60	21	30	24	42	31	15	51	3	1	
	-	36.6%	12.8%	18.3%	14.6%	25.6%	18.9%	9.1%	31.1%	1.8%	0.6%	
郡山地区	130	61	23	33	22	43	30	16	26	3	2	
	-	46.9%	17.7%	25.4%	16.9%	33.1%	23.1%	12.3%	20.0%	2.3%	1.5%	
無回答	9	2	0	4	0	2	3	0	0	0	2	
	-	22.2%	0.0%	44.4%	0.0%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	

\_\_\_\_\_% :各属性で最も回答が多い

(13)どの団体等と連携する必要があるか

問 30 あなたは、地域の福祉活動を充実するために、どの団体等の連携を強化していく必要があると思いますか。(複数選択可)

1 民生委員・児童委員	2 町内会・コミュニティ協議会等の地域団体
3 校区社会福祉協議会	4 鹿児島市社会福祉協議会
5 行政の関係課	6 地域福祉館
7 地域包括支援センター	8 病院・福祉関連施設
9 地域福祉支援員	10 学校
11 地域のボランティア団体	12 地域の企業・商店街
13 地域の特定非営利活動法人 (NPO)	14 分からない
15 その他 ( )	

「分からない」が5地区で最も多く、3割を超えている。また、桜島地区、喜入地区は「町内会・コミュニティ協議会等の地域団体」が、郡山地区は「民生委員・児童委員」が最も多く、3割を超えている。

表 39 どの団体等と連携する必要があるかのクロス集計

	サンプル数	民生委員・児童委員	町内会・コミュニティ協議会	校区社会福祉協議会	鹿児島市社会福祉協議会	行政の関係課	地域福祉館	地域包括支援センター	病院・福祉関連施設	地域福祉支援員	学校	地域のボランティア団体	地域の企業・商店街	(NPO)地域の特定非営利活動法人	分からない	その他	無回答	
(上段:人、下段:%)																		
合計	2,076	471	528	236	269	391	170	325	452	238	293	208	191	121	651	23	67	
	-	22.7%	25.4%	11.4%	13.0%	18.8%	8.2%	15.7%	21.8%	11.5%	14.1%	10.0%	9.2%	5.8%	31.4%	1.1%	3.2%	
居住地域別	中央地区	539	109	108	48	66	112	46	81	107	63	94	54	64	35	165	4	20
		-	20.2%	20.0%	8.9%	12.2%	20.8%	8.5%	15.0%	19.9%	11.7%	17.4%	10.0%	11.9%	6.5%	30.6%	0.7%	3.7%
	谷山地区	389	84	103	50	46	61	38	68	78	37	62	34	30	20	140	7	8
		-	21.6%	26.5%	12.9%	11.8%	15.7%	9.8%	17.5%	20.1%	9.5%	15.9%	8.7%	7.7%	5.1%	36.0%	1.8%	2.1%
	伊敷地区	230	46	57	24	29	35	16	29	42	30	30	22	15	13	81	3	10
		-	20.0%	24.8%	10.4%	12.6%	15.2%	7.0%	12.6%	18.3%	13.0%	13.0%	9.6%	6.5%	5.7%	35.2%	1.3%	4.3%
	吉野地区	202	35	45	14	23	40	17	27	38	16	23	21	17	12	71	1	7
		-	17.3%	22.3%	6.9%	11.4%	19.8%	8.4%	13.4%	18.8%	7.9%	11.4%	10.4%	8.4%	5.9%	35.1%	0.5%	3.5%
	桜島地区	125	40	48	17	17	35	9	18	36	18	13	13	11	6	28	2	2
		-	32.0%	38.4%	13.6%	13.6%	28.0%	7.2%	14.4%	28.8%	14.4%	10.4%	10.4%	8.8%	4.8%	22.4%	1.6%	1.6%
	吉田地区	134	31	36	17	22	25	11	21	31	21	20	19	13	5	35	1	7
		-	23.1%	26.9%	12.7%	16.4%	18.7%	8.2%	15.7%	23.1%	15.7%	14.9%	14.2%	9.7%	3.7%	26.1%	0.7%	5.2%
	喜入地区	154	47	53	31	29	29	9	25	36	14	22	15	17	9	42	1	4
		-	30.5%	34.4%	20.1%	18.8%	18.8%	5.8%	16.2%	23.4%	9.1%	14.3%	9.7%	11.0%	5.8%	27.3%	0.6%	2.6%
	松元地区	164	30	40	17	14	27	12	21	38	15	17	21	16	10	55	2	4
		-	18.3%	24.4%	10.4%	8.5%	16.5%	7.3%	12.8%	23.2%	9.1%	10.4%	12.8%	9.8%	6.1%	33.5%	1.2%	2.4%
郡山地区	130	46	37	17	22	27	12	32	43	23	12	9	8	11	32	2	4	
	-	35.4%	28.5%	13.1%	16.9%	20.8%	9.2%	24.6%	33.1%	17.7%	9.2%	6.9%	6.2%	8.5%	24.6%	1.5%	3.1%	
無回答	9	3	1	1	1	0	0	3	3	1	0	0	0	0	2	0	1	
	-	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	

注:各属性で最も回答が多い

## (14)福祉全般についての自由意見

問 31 その他、福祉全般について、ご意見がありましたらお書きください。

(例)新型コロナウイルス感染症が収束しない中、今後の地域福祉活動(交流)のあり方  
地域で困っている人のためにあなたが出来ること(やってみたいこと) など

### ①地域について

#### ■中央地区

- 町内会への加入義務化。(男性・60歳から64歳)
- 行政に限らず活動団体等に、きっかけづくり、新規参加しやすい仕組みづくりをお願いしたいと思います。(男性・50歳から59歳)
- 町内会への加入は任意ではないか。(女性・30歳から39歳)
- 子供が成長し、近所のママ友とも疎遠になっていき町内会も遠くなりました。自分が老いた時に地域の人の手を借りたいと思うかとも思います。その時のために私ができる事なら何でもしたいです。(女性・50歳から59歳)
- 地域の自治は大切だが、ボランティアに頼るばかりでは先細りする。若い世代は忙しくて参加しにくい。自分の住むところを自分たちでより充実した内容に刷新することも求められる。(女性・50歳から54歳)
- ご近所での付き合いが少なくなっている今、隣に住んでいる人が助けを求めているも気づかないというのが問題だと思う。(男性・30歳から39歳)
- 町内会をなくして欲しい。もしくは仕事をもっと簡単に。年配の方が多く、会長もなる人がおらず、くじで決めそうな所まできている。週6日働いて、子どもの行事もなく、せつかくの朝寝ができる日曜に公園掃除があり、落ち着いて休めない。今はみんな仕事をしていて町内会の活動(行事)に無理があるのでは。町内会の役員決めの事を思うとあいさつも容易にしづらい。近所の方は良い人ばかりなのに住みづらい。(女性・50歳から59歳)
- 役員として老人会の手伝いをしていますが、中々メンバーを増やそうにも会に入ってもらえない。声かけしてもうまくはぐらかされてしまう。(女性・70歳から74歳)
- 地域の福祉活動の情報を知らせて欲しい。具体的な活動が分からない。(女性・60歳から64歳)
- 「地域福祉活動」という言葉は分かるが、どういった活動があるのか、自分だったらどういう事ができるのか、「福祉」というのが年配の方に対する何かというイメージでしかない。講習会もどうやって参加するのも全く分からない。個人で何かできる知恵もないし、どういった道筋で誰かの力になれるのか、自分もこれから子供を育てながら働き・・となると、なおさら時間も限られてしまう。安心して子育てできる環境、働ける環境が理想です。(女性・30歳から39歳)
- 地域包括支援センター職員の対応に積極性を感じられない。(男性・70歳から74歳)
- このアンケートで、より具体的な地域の人「困り」が見えてくると、何か見えてきそうな気がします。地元の福祉施設、事業所等の地域資源について、住民がよりよく知ることで充実するものもありそうな気がします。(男性・65歳から69歳)
- 地域で困ったことがあったらすべての人が参加できる組織作りをして欲しいです。(男性・40歳から49歳)
- 町内会の民生委員は誰が選ぶのか。私の近くの民生委員はとてもプライベートな事を相談できる人ではない。(女性・70歳から74歳)

- 地域の町がきれいになるように掃除を頑張りたい。(女性・16歳から19歳)
- 町内会に公民館がないため、一人暮らしのお年寄りや子供の集う機会を作るのが難しい状況です。近隣の町内会のお達者クラブなどへの送迎とかあれば参加できるのではないかと思います。(女性・50歳から59歳)
- 中々、地域福祉に参加できないので、子供が大きくなって落ち着いたら、参加しやすい環境であって欲しいと思います。(男性・40歳から49歳)
- ステイホームの中、ますます地域交流など出来なくなっている中、地域で困っている事を情報収集できる所、場所があれば、今自分の出来る事をお手伝いする気持ちはあります。(代行買い物等)(女性・50歳から59歳)
- マンション住まいなので交流がなく、福祉活動とか考えてもみなかった。地域でどのような交流があるのかも知りません。募集方法とかもっと広く分かりやすくして欲しい。(女性・60歳から64歳)
- 地域活動(交流)やボランティア活動にどのようなものがあるか、事前に告知があれば参加者や興味を持つ人が増えると思う。また、告知以上に宣伝効果が期待できるのは、活動報告を盛んにすることだと思う。写真をつけて、活動内容や実施時間帯、参加人数、年齢層、参加者の感想や主催者の感想などを見聞きする機会が増えると、活動や団体の雰囲気が分かり、自分が参加する際のイメージを持ちやすくなります。より多くの人に地域交流への参加を求めるのであれば、まずは情報を提供し、地域交流の参加イメージを多くの市民が持てるようにしていただければと思います。(女性・30歳から39歳)
- 病院、福祉施設、介護施設、保育園等の職員の賃金が安すぎると考えます。地域福祉を支える人たちの賃金を上昇させ、地域福祉を支える人達を集め、その上でどのような福祉活動の充実を図っていくのかを考えるべきではないでしょうか。支える人がいなくなると福祉制度は崩壊します。個人の善意にだけに頼った制度設計は改めるべきだと考えます。(男性・30歳から39歳)
- 近所にも見る限り「困っているのでは？」と思う方がいらっしゃっても失礼にあたると思ひ声をかけられない。そういう方々は声をあげづらいのだと思うが、踏み込む事は、関係性が崩れ、ますます生きづらくなるのではと思ひ、専門家にお任せするしかないと見てみぬふりをしてしまう。(女性・40歳から49歳)
- 私が住んでいる所は町内会行事が毎年あります。内容はいつも一緒ですが、いつも行事は同じ人がまとめています。上に立つ人間が代わる事がなく、その人に従うという風になっています。そういう方達がいることで成り立っているのかもしれませんが、いろんな人の意見を聞いて、昔と違う現状を少しでも理解して欲しいものです。高齢化が進み、若い世代に負担が行く中で、もっと住みやすい町内会になるようになっていけばいいなと思います。補助金のため、自分の地位のためにするのはあまり理解できません。(女性・30歳から39歳)
- 町内会での活動はとても負担が大きい。市が町内会へ色々と連携を依頼するのは控えて欲しい。また、あいご会活動も鹿児島市だけのようだ。あいご会の活動も町内の重鎮の意見優先で、学校にも負担がかかり、子どもは、係になった人の子どもも中心(塾、習い事などで集まらない)。昨年通りに・・・という流れが多く、働いている母親への負担が大きすぎる。(女性・50歳から59歳)
- リーダーにボランティア精神のない人が多い。個人情報的な事柄が多いので、真の職業ボランティア精神のある組織と人材でないと対応が出来ない。難しい。(女性・75歳以上)
- 災害の時など、近所の人々のことを良く知っていたり、また、知ってもらっていたりするこ

とが大事なものは分かっています。しかし、それよりも自分の家庭の事情をあまり他人に知られたくない気持ちが上まわります。現に引っ越すわけでもないのに「町内会を脱退します」という申し出をする人が続出しており、強制もできないので町内会人口は減る一方です。だから中々「町内会の助け合い」は難しく、テレビやネット等での地方公共団体からの情報が頼りになってきます。行政は行政で多忙ですから、中々手はまわらない。(女性・60歳から64歳)

- 地域で協力することは大切だと思います。現代は顔を合わせなくてもコミュニケーションがとれますが、あまりにもお隣さん同士でのコミュニケーションはないです。少しさみしい気もしますが、引きこもる人が少なくなることを願います。(女性・30歳から39歳)
- 現在、引きこもりです。地域との交流は大切だと思いますが交流できません。職に就いたこともなくこの先、経済的にも心療的にも不安です。気軽に相談とかできる福祉施設があればと思う時があります。(男性・20歳から29歳)
- 地域福祉活動がどのように行われているのか分からないため質問にも答えづらかった。どのような活動をしているのか知ることが出来れば、地域の福祉活動にも参加できる機会が増えていくと思うので、市のHPや市民のひろばなどで取り上げて欲しいと思います。(男性・40歳から49歳)
- コロナの問題もあり、ただでさえ少ない地域行事等がさらに中止になって、人々の交流が少なく孤立化が進んでいるので、何か対策を考えていくべきである。(男性・40歳から49歳)

## ■谷山地区

- 地域の活動はどういったことをしているかが分からない。(男性・20歳から29歳)
- 福祉の利用が活発で、それぞれ趣味など人との交流場づくりができています。行政が素晴らしい企画等を打ち出しても町内会未加入者には届いていない状況で、まずは町内会加入率を上げることだといつも感じています。(男性・75歳以上)
- 父が認知症になった時、近所の方が地域包括支援センターを教えて下さり、その後の長い介護生活をして来られました。今まで、ケアマネージャーさん、デイサービスの方々、病院の先生達に支えられ頑張って来られました。これも地域の情報のおかげです。困った時、一人で悩み抱えこんでしまう人たちをどう支えるか。私なりに一人暮らしのお年寄りや子育て中のお母さんに、声かけていきたいと思っています。(女性・50歳から59歳)
- 町内会の未加入対策が必要です。(男性・75歳以上)
- 町内会加入への強化。(女性・70歳から74歳)
- 若者が少なく、役員などがすぐに回ってくるので、町内会に入らない若者が増えて、入っている人の負担が増え、そのため、入っていた人もどんどん町内会をやめていくので悪循環である。何かいい方法はないだろうか。(女性・40歳から49歳)
- 町内会で福祉活動をするにあたっての支援金を市からお願いしたい。(男性・60歳から64歳)
- 地域交流、福祉、ボランティア等大切なことは良く分かっています。でも実際、活動となると、参加の有無、役員等の負担等、協力したいけど出来ないことも。(女性・40歳から49歳)
- 町内会に加入していますが、世帯の多い所で、交流がほとんどないので、隣近所の人しか顔も分からない。(女性・50歳から59歳)
- 地域のコミュニティ(会話)が全然ない。みなさま色々な事に余裕がなさそう。自分(家族)だけがよければという風を感じる。全体的に冷たい感じ。(女性・60歳から64歳)
- 地域の町内会も入会する家庭が少なくなり、所属する班がなくなっていました。他の班

に入れてもらうこともできたのですが、年齢的なこともあり退会しました。町内会に入っていたからこそ、近所の方々と顔見知りになれたりしたのだと思います。(女性・60歳から64歳)

- 転居して間もないので、町内役員さんに声かけしたが何も返事、集金などない。(女性・60歳から64歳)
- オンラインを活用した地域交流(新型コロナの影響で外出を控えている高齢者を対象)ができればよい。(女性・50歳から59歳)
- 民生委員・児童委員、地域福祉支援員などやってみたいと思うことがありますが、どのようにしたらなるのか分からず、なったとしてもどのような活動ができるのかも分からないので、地域でイベントがあったときに参加するくらいです。(男性・50歳から59歳)
- 地域の現状が分からないので、どのように(福祉)活動していけばよいか分からない。(男性・50歳から59歳)
- アパート住まいだとあまり近所の人との交流はありません。ゴミ出しの時とかにあいさつするくらいです。市の職員の福祉の人たちも日々の業務で忙しいとは思いますが、地域にもっと出て、市民と直接会うなど生の声を聞いていただけたら、もっと市民も、地域の福祉や高齢者・認知症のことなどに関心をもっていくのではないのでしょうか。もっと頑張っ鹿児島をよい街にしていって欲しいです。(男性・50歳から59歳)
- 私は現在、民生委員・児童委員、校区社協福祉委員として活動中です。この他、小学校スクールガード、校区コミュニティ協議会の青パト隊員としても活動しており、朝の通学時は通学路で見守り活動を、下校時には青パトを運用し、下校時の安全見守りと共に地域の防犯広報活動に従事しています。今後も私に出来ることがあれば地域のために頑張っていくつもりです。(男性・70歳から74歳)
- 地域の交流は必要。交流度合いの「考え方」が人それぞれなので、基準の設定の仕方が難しいと思う。ただ、地域力を高めるためには相応の交流を図っておくべき。(男性・50歳から59歳)

## ■伊敷地区

- 地域福祉活動の接点がほとんどないので、余った余力をそっちの方に向けていきたいと思います。体が動くのでボランティアでもやっていきたいと思います。(男性・70歳から74歳)
- 町内会の必要性を住民に認識させる。福祉活動も町内会主導でやれば活性化も期待できると思う。(男性・75歳以上)
- 地域の人々が主体となり、それを行政がサポート支援出来るシステムを作っていく。また、動かしていく事が大切だと思います。(男性・65歳から69歳)
- 日々、自分の家庭で精一杯になっているので地域の活動への参加が難しい。(女性・30歳から39歳)
- ゴミ出し、外灯利用など有りながら町内会に入会しない人がここ数年多くなってきているように感じる。声は掛けるのですが(班長になった際)「来年は・・」と言いながら入らない。色々な事情が有るのかもしれませんが難しいです。(女性・50歳から59歳)
- 福祉という言葉が分かりづらい。時代に合ったネーミングを。事実上、地域コミュニティが成り立っていないので、時代に合ったシステムの構築が必要。(男性・40歳から49歳)
- 民生委員等で地域福祉の推進は無理。町内会・校区コミュ協等と連携し活動する必要がある。町内会加入率を向上させる必要あり。人口減少が続く対応を考える必要ある。集落の持続可

能な施策が必要情報になるが、要配慮者等を町内会へ教えて欲しい。農作業の共同化への補助。耕作放棄化への対応。(男性・50歳から59歳)

### ■吉野地区

- 福祉情報の広報が充分でないように感じます。(男性・40歳から49歳)
- 地域の見守りはとても大事なことである。(女性・40歳から49歳)
- 地域包括支援センターの方がもう少しいろんなことを知って欲しい。(女性・60歳から64歳)
- 福祉と一言言っても具体的なことがよく分からない。地域には、高齢者も子供も障害者も多いと思われる中で、すべて大事だが、すべてを充実させるには無理があると思う。支援も片寄ったものになると思う。町内会の取組も町内会に入っていることが損をするように思う。(女性・40歳から49歳)
- 地域の福祉杯のグランドゴルフ大会をして欲しい。(男性・75歳以上)
- 地域の福祉は充実していると思う。町内会の必要も感じています。70才定年世代として働いていますが、やはり体力、気力の衰えは思っていた以上です。団地の高齢化、過疎化で若い人の後継者が少ないので、役員の負担が大きく協力をためらいます。行政の力を借りて負担を小さくしていただけたら助かります。(女性・65歳から69歳)

### ■桜島地区

- 過疎地域という一言で片づけられるのではなく、市街地と同等のサービスが受けられるよう具体的な取組をして欲しいです。(女性・50歳から59歳)
- ある町内会は、活動や地域の皆さんの顔(様子)が良く見え、とても安心だと思っています。普段からよく声を掛け合っているので、いざという時(災害時など)助け合える安心感があります。(不明・20歳から29歳)
- 桜島は小さい町、他の地域よりも団結しやすい地域だと思っています。ただ、行事があっても積極的に参加をする方が少ないのが気になります。異世代交流や高齢者のイベントに若世代が参加したり手伝ったり、その逆だったり、昔の事を教わる機会だったり、まずはそこに興味を持つ人を増やす取組から始めて欲しいと思う。今の子どもたちが大きくなった時、地域の人とのつながりを大切にして欲しいと思う。“この地域が大好き”と言ってもらえるように。(女性・40歳から49歳)
- 今はコロナで自粛が続く中、環境も大きく変わりましたが、地域のコミュニケーションがほとんどないと思います。地域の毎回の行事の放送もありません。役員さんになった方は分かると思いますが、地域で一人住まいの方とか声かけしていきたいと思います。福祉に関してはなるべく目を通していきたいです。(女性・70歳から74歳)

### ■吉田地区

- もう少し地域の細部まで地域福祉活動が広がっていくような対策を考えて欲しい。(男性・65歳から69歳)
- 以前、町内会に入会していましたが何の行事もなく町内会の活動が全く理解できずにやめました。もう少し、行政の方々も通り一遍ではなく住民一人一人の意見も聞いて下さいますように願います。町内会の知らせは、年に一度の大掃除のみの知らせで、その時は出席します。福祉に関しては介護保険料も払っています。夫婦とも70歳以上ですが介護サービスを利用せずに生活しています。介護を受けている人より介護を受けていない人を大切にされるよう

に願っています。(男性・70歳から74歳)

- 過疎化地域への対策が必要。(男性・60歳から64歳)
- 地域福祉等の内容は伝わってきません。協力したい事もあるかとは思われます。PR活動をよろしくお願い致します。(男性・65歳から69歳)

### ■喜入地区

- 福祉活動故に、行政でも専門家でもない住民の認識を理解し、心あるコミュニケーション、行政活動を高めて欲しい。(男性・70歳から74歳)
- コロナの前までは地域交流があり、高齢者の笑顔を見ることが出来ていました。現在は何をしているのか、何の手伝いをしてあげればよいのか情報が入りません。協力して下さる方への声掛け呼びかけが必要だと思います。(女性・50歳から59歳)
- コロナ感染予防対策や収束に向けての活動、助け合いなどがあれば地域の皆様と福祉の皆様と力を合わせて取り組みたいと思います。地域の皆様の安全、安心な生活を取り戻したいと思っています。(女性・50歳から59歳)
- 地域に住んでいる方々の意見を聞き、行政に生かして頂きたい。地域のボランティア活動等。(男性・65歳から69歳)
- 地域のリーダーとなる人の研修の場を作って欲しい。地域活動を発表できる機会を作って欲しい。(男性・70歳から74歳)
- 町内会等の自主的な会に行政の仕事などを増やさないこと。(男性・75歳以上)
- 利害主張の強い者の意見が通り易い事案をよく耳にする。自分の住んでいる地域はボランティアを含めた地域福祉の環境がまだまだ薄い。それは住民ひとりひとりの認識がそのレベルに至っていないことの要因でもある。(男性・60歳から64歳)

### ■松元地区

- 地域の福祉活動自体を把握していない。どんな活動なのか全く理解できていないので、具体的に分かりやすく伝えていただくと良い。ボランティア活動や困っている人のために役立たせたいとは思っているが情報が乏しいため、どのような活動があるのかまずは知りたいです。市民のひろばも細かすぎて(字も小さい)読む気になれない。もっと市民が興味を持ってもらえるような内容に変えてみると若い人も読むと思います。(女性・50歳から59歳)
- 新型コロナが収束しないと難しいが、各地域で生活に関する事で、例えば、シルバー人材センターさんや業者に頼むほどではないが、専門外の事でそれぞれが特技を出し合い、生活に密着して日々の事をプライバシーに配慮しながら、いつでも1人1個ずつでも地域(町内会単位)に登録しておいて少し助けてもらいたい。「少し余裕があるから」、「助けられる時間もあるから」と、頼み、頼まれるシステムを作り、誰でも困った時に利用できる相互助け合いのやさしい、住みやすい、自然と無理のない交流ができる町、地域を作れたら良いと思う。お礼等はお互い様の精神で皆気兼ねなく、簡単なカードを作り、ポイント制にしたりすると楽しくなると思う。利己主義の世の中を少しでも無くし、孤立する人、弱い立場の人、寂しい人など、イジメ、引きこもり、認知症等が少しでも減るのではないか。(女性・65歳から69歳)
- 地域で福祉関係が問題になっていることをまず知らないし、情報が広まっていないと思う。福祉全般についての意見よりもまず地域の人々に知ってもらった上で聞くべきであると思う。もう少し福祉全般について簡単に知ることができるようになるべきだと思う。(男性・16歳)

から 19 歳)

- このコロナの中、近所の人に声をかけるにもはばかれる状態で、益々お付き合いがなくなるように思う。行政に頼らない小さい地域の中での交流ができればいいと思う。大げさなイベントではなく、道路での立ち話、お茶飲み話とか。以前は普通にあった光景が取り戻せたら。公民館ではなく個人の家や庭でおしゃべりしたり食べたりする「サロン」のようなのがいくつかできて、そこに行政が少し補助をしたりとかできないものでしょうか。わざわざ遠くに出かけて行くのではなく、近場で見知った人々と交流するのがいいような気がします。(女性・65 歳から 69 歳)
- 広く福祉を進めるためには地域の協力は不可欠ですが、自分の住んでいる地域では公平性はあまり期待できない。仕方がないと割り切っています。(男性・40 歳から 49 歳)
- 現在の住まいに移り約 2 年間に経過しましたが、ご近所トラブル等もなく住み易い地域だと思います。町内会主催の清掃活動等には出来る限り参加しておりますが、勤務のためどうしても参加出来ない時(今のところ全て参加している)にギクシャクしないかが気がかりです。(男性・60 歳から 64 歳)
- 地域活動の参加はしたいが時間が限られているため、責任を持ってその役割(係)を全うする事が困難です。(男性・50 歳から 59 歳)
- 同じ学区でありながら様々な地区に分かれているが、同じ町内会費を支払っていても使われ方が全く違っていることに不満があります。町内会費はいったいどこに使われているのだろうと思う私の地区です。加入していても何の見返りもないのがおかしいと思います。この差は何なのだろうと思います。会費を下げるか、内訳をきちんと示して欲しいです。(女性・30 歳から 39 歳)
- 出来る事から身近な事から地域に参加したりすることが大事。近年、若い方が家を建て住宅地が広がってきたが、自治会に参加される方が少ない。加入することが望ましく、今までと違った連携も出来るのではないか。人→地域→学校→企業(商店街)→行政すべてが密接に繋がっています。この令和を生きる人達が、コロナウィルスに負けないよう一人一人が自覚して、人を思いやりながらこの時代を切り開いて、乗り切っていかなければいけないと感じます。(男性・65 歳から 69 歳)
- 今の場所に住んで 3 年になりますが、初めから町内会費を払っているのに一度も回覧板がまわってきた事はありません。前に住んでいたところは活動報告もあったが、何のためのお金を払っているのか分からない。公民館もすぐ近くにあるが何に使われているのか。もうすぐ子供も生まれるので不安しかありません。(女性・30 歳から 39 歳)

#### ■郡山地区

- 今後は地域で支え合うことが重要になってきます。そういったことに一つでも協力支援できるように私なりに勉強中です。地域で少しでも協力したいと思う人はたくさんいると思うので、そのような場を広げて行って欲しいと思います。(女性・40 歳から 49 歳)
- コロナ禍で、自治会行事、老人会行事等々の自粛で地域住民の交流が全くなくなっている。何か出来る対策を教えて欲しい。(女性・65 歳から 69 歳)
- 夫は自治会の役員をしていたので、人の顔、名前をよく知っています。お互いを知っているということは、色々な活動をするうえでとても大切なことだと思います。地域がまとまっていればもっと大きな活動につながると思います。(女性・65 歳から 69 歳)
- 地区の安全を確かめるための定期的な見回り等を具体的に行ってくれば安心。(女性・70 歳)

から 74 歳)

- 住んでいる地域の現状を知ること。また、集落に住んでいるが交流も全くないのはどうしてかといったことを詳しく知ること。災害の時にどうするかなど。(女性・60 歳から 64 歳)
- 病気等により地域住民の人員も減少してきた。行政と自治会が分かり易い福祉施策に取り組んで欲しい。(男性・70 歳から 74 歳)
- アンケートに答えてみて、地域福祉について分からない、知らなかったということもあり知っておきたいと思いました。それに知らない方も多いのではないのでしょうか。(女性・65 歳から 69 歳)
- 各地域アドバイザーの方の声かけは必要でもあると思う。鹿児島市の様な所では、警戒心もあり、プライバシーの侵害とも言われるので、立ち入る事も難しい気がします。専門的な立場の方が必要ではないのでしょうか。(女性・50 歳から 59 歳)
- 子供がいなくて、若い方達との面識がなく、団地は新しい人達がどんどん多くなり、昔から住んでいる方々は皆、年を取り施設に入所して知り合いも少なくなってきた、若い人達とどのように交流して良いのか分かりません。町内会のボランティアとかは参加していますが、それ以外はどのように連携を取り合ったりすれば良いのかよく分からない感じです。何か高齢者でも出来る事があれば協力は出来るような気はします。(女性・60 歳から 64 歳)

## ②高齢者福祉について

### ■中央地区

- 近くに買い物ができる店がなくなり、年配の方たちは少し遠いところに行くのが大変と聞いた。地域で助け合う交流があれば頼みやすい環境になると思います。(女性・30 歳から 39 歳)
- 高齢者が安心して暮らせる環境づくりをして欲しい。新型コロナの影響で仕事がなくなり将来が心配。生活困窮者への支援を充実して欲しい。(女性・40 歳から 49 歳)
- 地域で活動したい気持ちはありますが、持病で 10 年以上通院が必要です。土日にリーダーになる方のお手伝いが出来たらと思うのですが、それも体の状態を見ながらなので、情けないです。(女性・70 歳から 74 歳)
- 鹿児島市では、ゴミ出しの収集ではない日にゴミを出される方が多く、道路上に錯乱しているようです。高齢者になるとインターネット等は出来ず、色々な情報も分からないままで生活しています。もう少し分かりやすい情報があればと思います。災害があったら隣の家の事(一人暮らしとか)の確認ができればと思っています。いつも声かけをしています。(女性・60 歳から 64 歳)
- 隙間時間や買い物などのついでに一人暮らし高齢者、一人親家族への声掛け、見守りなど、負担にならない程度の事ならできそう。そこから支援が必要なら専門家へつなげる。(女性・60 歳から 64 歳)
- 高齢者で自分がお世話になる年ですのでお手伝い、福祉活動等できません。人様に迷惑かけないように日々暮らすのみです。(女性・75 歳以上)
- コロナ禍の今、Face to Face の交流活動は難しい面もあるが、何とか工夫して、まちづくりの灯を消さないようにしなければ。マイナスをプラスにして。高齢者の感染リスクが高ければ、リモートで集えるので、つなぐ役割を今は行政が担っていただきたい。(男性・50 歳から 59 歳)
- コロナが収束しても、コロナで学んだことを忘れず、信頼できる仲間助け合う。高齢者が増え、ペットの散歩も買い物も困っておられる方がいます。自宅でリハビリ、日常生活の支

援、一人暮らしを尊重した連絡体制やネットを使えない人への簡単なツール使い方の紹介。軽度な認知症であれば生活できる環境になるといいと思う。信号も半分しか渡れない高齢者を見て気の毒になる。設定時間、休憩場所、ベンチの設置なども必要に思う。若者、子供の頃から弱者へのいたわり、ボランティアを教育し、誰しも最後に訪れる体・脳の不自由を理解し、手を差しのべられる、他人事ではない現実を考えていくといい。相談先や活動を文字よりも写真・画像・絵で見える化して欲しい。いざという時にどこに電話・相談していいかわかりにくいです。HPも文字が多く理解へのハードルが高い気がします。時間がかかる人にも寛容であって欲しい。(女性・40歳から49歳)

- 民生委員さんは高齢者の方が多く、昔の考え方や接し方での対応がある。もっと今の時代にあった取り組み方や、声のかけ方をしていくと若い方も興味を持ってもらえると思う。(女性・50歳から59歳)
- 高齢者への見守り、買い物支援、子供食堂への支援、ひとり親家庭への支援はやってみたいと思います。お困りの方がいらして受け入れて下さるのであれば、少しでもお役に立ち不安を解消出来たらと思います。(女性・60歳から64歳)
- ご近所は高齢の方が多いです。コロナ禍の中、訪問することはお互い遠慮いたしております。電話での声かけはさせて頂いております。(男性・75歳以上)
- やってみたいと思う事はありますが、自分が高齢者になって、足が不自由になりますと、理想通りにいかず、自宅の前の道、溝の清掃等をしています。少しでも社会にお役に立ちたいと思っております。(女性・75歳以上)
- 福祉サービスを御存知でない方が多くいらっしゃることを仕事の関係上よく実感します。利用すべき方々が気軽に利用できる環境にするためにも、相談窓口の増設や知識の強化、高齢者等のインターネット弱者に対する周知強化など更なる支援が拡がり、少しでもお困りの方々が減少することに期待致します。(女性・30歳から39歳)
- 健康年齢を上げていくための具体的な活動。地域での活動は1人暮らしだと、あまり必要性を感じていない。災害等で高齢者などの手助け等はしていきたいと思うが、参加していないと把握できない。必要時のみに関わるような町づくりでもいいのではないかと。(女性・20歳から29歳)
- 年寄りの方と若い方の交流の場を設け、10代の学生が間に入ると、学生は幼い子と年寄りの世話ができ、年寄りの認知症予防にもなり、ふれあいの場として関わりが持てて、いいと思います。(女性・16歳から19歳)
- 地域でも世代交代、高齢化が進んでいます。町内会活動や気軽な寄り合いなどできる場所やリーダーが必要と思います。高齢者福祉センターもいくつかありますが、自分で行ける元気な高齢者しか利用できません。福祉バスのようなものを地区や団地を巡回して連れて行ってもらえると良いと思います。将来的には、公立の高齢者住宅、老人ホーム等もつくられると良いと思います。介護職従事者の賃金を上げることも大事と思います。児童(共働き家庭の)見守りや障害者、地域住民が気軽に寄れる場所だとボランティアもしやすい。(女性・70歳から74歳)
- 昨年まで母の自宅介護をしておりました。相談の窓口等を利用できることを知りませんでした。アンケートを頂いて、地域の福祉等のホームページを見たりするきっかけにはなりました。もっと分かりやすく、必要としている人が利用できるよう認知されるといいと思います。(女性・50歳から59歳)

## ■谷山地区

- 見守りが充実して高齢の方々に声掛けをしてくださる所で満足している。(女性・75歳以上)
- 老人会の活動を実施し、高齢者の運動不足を改善する。(男性・75歳以上)
- 高齢者の免許返納を勧めているが、それに対しての利益や、そうしようと思わせるシステムが弱い気がする。子どもへの手当等はずいぶん良くなっているのに対して、高齢者に対しては良くなっていないと感じることが多くある様に感じます。(女性・30歳から39歳)
- 福祉に関する情報が届いていないような気がする。市民のひろばも読みづらいので分かりやすい表現を使って欲しい(イラストを使うとか)。高齢者の問題について、要支援の時と要介護の時で、それぞれ相談窓口が変わってしまう。家族にとっては混乱、戸惑い、高齢者本人にとっては不安、不信につながる。一本化して分かりやすくしてもらいたい。優しい福祉を望む。(男性・50歳から59歳)
- 身寄りのない高齢者に外に出てきてもらうために、区ごとで何かしら企画を立て、他の高齢者とのコミュニケーションのきっかけを作れば、つながりが出来るのではないかと思います。(男性・20歳から29歳)
- 障害者、高齢者もみんなが災害時等にも情報共有できるように、スマホ等を持っていないでも困らないように、近所にどのような人がいるのか分からないので、少しでも交流できるような状況作りが出来るといいなと思います。(女性・40歳から49歳)
- 介護施設が増えてきていますが、有料老人ホームなどが目立つようになり、サービスがすべて料金として成り立っているように思えます。公共的な老人保健施設がもっと増えてもらえたらと思います。(女性・60歳から64歳)
- 高齢化社会の中、核家族が増える中、バリアフリーの家があったら良いと思います。(女性・50歳から59歳)
- 最近、身の廻りでも1人暮らしのお年寄りが増えてきています。母もですが、離れていて心配する事が多いので、家族で気をつける事はもちろんですが、福祉の活動に力を入れてもらいたいです。認知症で1人家の外に立っている方等も見られます。(女性・60歳から64歳)
- 運転免許証返還後、交通機関の不便を痛切に感じる。高齢になると病院通いが増えるが、外出を控えるようになった。(女性・75歳以上)
- 高齢者がひきこもらないための活動。社会の一員としての役割があると生きがいになるのかと思う。ボランティア活動の充実。災害時の対応。(男性・50歳から59歳)
- 様々な面で高齢者を優遇しすぎだと思っています。税金を使う人ではなく納めている人をもっと考えて欲しい。(女性・30歳から39歳)

## ■伊敷地区

- 高齢化社会では、高齢者福祉センター等の利用者が多いです。利用できる高齢者はいい方です。料金が高く利用できない高齢者もいます。福祉支援が必要です。金銭的支援も必要になります。(男性・60歳から64歳)
- 団地住民が高齢化してきており、その中で主たる役割を担っている方も高齢者である。若い世代は、子育てや仕事で忙しいため町内会活動はあまりできないが、お互いに理解しあい支え合うことが必要。町内会に加入していない家庭もあり、少し残念な感がある。コロナ時代の在り方も今後変化していくことも考え、オンライン会議、連絡等を考えるとその点からの支援も必要ではないか。(女性・60歳から64歳)
- 地域全体が、高齢者が多数を占める環境になっていくので、地域交流を図ることが大切に思

われる。社会的・経済的格差が大きい地域環境は、福祉活動も幅が狭いものになる。それを埋める意味でも、ボランティア団体や特定非営利活動法人の育成を図っていくことが大切と思う。子育て支援、生活困窮者への支援が、人々の関心と意識が高まっていくような地域（福祉）環境を作っていくことが問われていると思う。（女性・70歳から74歳）

- 鹿児島市社会福祉協議会には、子供達が県外に住んでいる高齢者が多いので、安心して暮らせる町づくりをして欲しい。（女性・75歳以上）
- バスが年々減便しておりとても住みづらいたと感じます。車がないと生活できない世の中になっており、年寄りに寄り添ってないと感じます。（女性・16歳から19歳）
- バス停に椅子を置いて欲しい。どこのスーパーでも有料で買物の配達をしてくれると有難い。一人暮らしの高齢者には重たい物の持ち運びは大変です。（女性・75歳以上）
- 認知症の人が1人で徘徊している時の声かけ、連絡できる町づくり。町民と一緒に暮らせる町づくり。認知症でも重度になっても暮らせる町。人間として死ぬ最後まで住んでいける住民のつながりがあり、孤独死などをなくす。他都市には図書館などが所々あり、情報・知識を入手しているように、伊敷にも図書館を作ってもらいたい。子供から高齢者まで楽しめます。福祉館だけではなく、本を自由に選び楽しめる場所作りです。そこでの交流が広がっていくのではないのでしょうか。（男性・50歳から59歳）

#### ■吉野地区

- 超高齢化社会になっているが、新型コロナウイルス感染症が中々収束しない中、どうやって声かけしていいかわかりません。（男性・65歳から69歳）
- 私達の地域は高齢者ばかりなので何かあった時が心配。（女性・75歳以上）
- 70代で認知症になった時に、デイサービスなどのサービスを受ける前に気軽に行けて、活動ができる場所を作っていただきたいです。年をとっていくことが重荷になり、誰かの迷惑だけにはなりたくないと思っているのは私だけではないと思いますので、どうか今まで頑張ってきた方々が、楽しく暮らせる鹿児島市をお願いします。（女性・70歳から74歳）
- 人家も以前の分もなく高齢者がほとんどで過疎化の状態です。近所の人ともあまり会わない。自分では何も出来ない。（女性・70歳から74歳）
- コロナの中で、町内会、老人クラブ等の集会やイベントの中止が相次ぐ中、どのようにこれから推し進めていけば良いのか色々ご指導願いたい。（男性・70歳から74歳）
- 親や祖父母にとって、町内会活動は仕方なく参加してかなりストレスだったようだ。近所だからこそ深入りしない方がよい事もある。高齢化社会は、行政がしっかりと政策を立て支援していくべきだと考えます。（男性・20歳から29歳）

#### ■桜島地区

- 桜島は過疎化が進んでいて、高齢者が多いため、40代～50代の人々が地域の役員などになるが、人が少ないため負担が多く、また、役所等の会議が多く、かなり負担になるため考えて欲しい。高齢者のためにイベントなどするのはいいが、その運営は40代～50代の役員がするため、負担が多くなる。（男性・40歳から49歳）
- 新型コロナウイルスでコミュニティ協議会の行事などの中止が相次いでいるが、高齢者と子どもたちの交流が無くなると寂しい気がします。（女性・50歳から59歳）
- 高齢者が多いため、たまには民生委員に訪問して欲しい。（男性・75歳以上）
- 私の住んでいる桜島は、高齢者の独居者がいます。買い物する場がフェリーターミナル近く

にしかありません。近くに家族、親類がいる方はいいが、運転が困難または出来ない人は大変だと思う。買い物だけでもボランティア支援で出来れば嬉しいのではと思う。(女性・50歳から59歳)

- 高齢者の方々は、日々身体的にも衰えていく中で、自分の判断では自分の支援がどこまで必要か、支援しにくくなっている事を見受けたり、聞いたりする。家族や親戚も離れていると、どこまで関わって良いのか思案している。第三者である方の専門的な知識の中で、関わって、支援、アドバイスが必要なのではないかと考える。そのためには、日常から高齢者、障害者の方々とコミュニケーションが必要であると思う。そのためには、地域の交流、情報の共有が大切であり、必要であれば公共の福祉機関へ連絡を取り合う事が大切であると思います。(女性・60歳から64歳)
- 私の住んでいる地域では高齢者が多く、みんな工夫して暮らしているが、買い物に行く時は車が必要な場所にあるため、車を持っていない人はとても不便だと思う。(女性・20歳から29歳)
- 介護職員として、出来ることなら、在宅介護で、家族の方の悩み相談ごとなどを行政などが聞き入れてくれると非常に助かる。子供や高齢者が住みやすい街づくりを実施して頂きたい。(女性・40歳から49歳)
- 地域柄、高齢者のひとり暮らしが多くて、福祉が行き届いているのか不安です。民生委員の方が声かけしている所はよく見かけます。地域の企業や商店街の活性化を早急に進めることも大事なかなと思います。民生委員の方からの報告が家族に伝わることで、何かの発見があるかもしれないので、遠方からでも帰る回数が増えるかと思えます。意外と後から知ることが多いので、どんな事でも知らせてもらえることがありがたいかなと思います。(女性・60歳から64歳)
- 災害時の避難所を、もう少し高齢者や障害者の方に配慮が欲しい。緊急時なので仕方がない場合もあるが、今回の台風10号で色々な不具合が出たと思います。(女性・60歳から64歳)

## ■吉田地区

- 少子高齢化社会を迎え、先々の異年齢集団活動を充実させながら、それぞれの各団体との交流を通して、活動の充実と発展を目指していきたい。(男性・75歳以上)
- 近くに年を重ねても行ける様なコンビニ、店が欲しいです。車に乗れない人達に、買い物のできる場所、移動販売車でも良い。(女性・70歳から74歳)
- 少子化で年寄りが増えていく時代になっていくと思えます。今のところ、自分の事は自分で出来ませんが、将来の事を思うと認知症の事が心配です。自分の事と家族の事で精一杯です。(女性・70歳から74歳)
- 数年前まで地域のアドバイザー(高齢者)をさせてもらっていました。小さな集落で、見守りは話し相手として重荷にならない程度に個人的に参加しているつもりです。(女性・70歳から74歳)
- 新型コロナウイルス感染症の罹患を恐れ、自分を含め多くの方が閉じこもりがちです。高齢者の社会参加が減り、心身の衰弱が心配です。早く予防接種が開発され、安心して生活できる日が来る日を待ち望んでいるところです。高齢者の見守りも大切です。近所の方々に会った時は声かけを心がけています。あいバスの利便性を高め、利用者を増やす事はできないのでしょうか。利用者が少ないように思います。(女性・50歳から59歳)
- 私の近所も一人暮らしの高齢の方が増えてきました。中々ゆっくり話す機会もなくなり色々

考えます。今働いているのでこれから先、自宅でゆっくりできたら、近所の方々とお茶を飲みながらサロンのようなことができたかなと思っています。(女性・60歳から64歳)

- 私は65歳以上高齢者です。年金だけでは生活が大変で、イベント・フリーマーケット等で働いていますが、コロナで全て中止です。人に相談もできず困っている人もいます。年金を受けているからお金の相談はしにくいとかよく耳にします。行政も小さい所まで目を向けて、相談しやすい窓口専門員を望みます。(女性・65歳から69歳)

#### ■喜入地区

- 健康な高齢者のコミュニティの場を準備していただきたい。(女性・50歳から59歳)
- 喜入は公共の交通機関が少なく、タクシーを利用される高齢者も多いが、タクシーの数も少ない。指宿市で見かけた相乗りタクシーや、それに似たものがあるといいと思う。バスは足が不自由な方には利用しづらいとよく聞きます。タクシーを利用したくても料金が高いという人もいます。買い物代行とかもあるといいと思う。(女性・30歳から39歳)

#### ■松元地区

- 引っ越してあまり長くないので地域の事はよく分かりません。新型コロナ等もあり、益々ネット社会が進むと思われれます。高齢者がどのように情報収集していくか課題だと思います。(女性・40歳から49歳)
- 日常生活、避難所への移動等が困難。超高齢者は益々増えてまいります。住みなれた自宅で安心して暮らすため、身近で小さな援助組織があればと思います。孤独死、見守り、健康増進を一機に解決です。(男性・70歳から74歳)

#### ■郡山地区

- 各家庭、高齢者の方が多い。話し相手になることも必要だと思う。(男性・75歳以上)
- コロナウィルスの感染予防で、自宅にこもりがちになる高齢の方や外出しづらい方々への精神的なサポート。話し相手や手紙のやりとり等でも。どこでこのようなことをやっているのかの情報入手方法や流れ(仕組み)が分かりやすいと、自分にも出来ることがあるかと思える。(女性・40歳から49歳)
- 市内の中心部を外れると中々、情報が伝わるのが遅いような気がします(高齢者人口も多いのもあると思いますが)。色々な方に聞いた事がありますが、ここ1~2年、郡山高齢者福祉センターが以前ほど活気ないと思います。(女性・50歳から59歳)

#### ■居住地区無回答

- 高齢者支援施設の充実を希望します。(性別・年齢不明)

#### ③子育てについて

##### ■中央地区

- 児童や子育て世帯に対する支援は行っているが、高等教育(大学)等の世帯についての支援もお願いしたい。コロナ禍で、アルバイト収入も減り、親の収入も減り、このまま学生生活を続けていけるのか不安も大きい。今は自分の生活でいっぱい、福祉活動やボランティアに参加できる余裕はない。(女性・20歳から29歳)
- 子育て支援等、高齢化が進む中、いきがい作りのお手伝い。(共働き家庭が多くなった現在、

親が帰ってくるまでのすき間時間に) (女性・60歳から64歳)

- 小学生、中学生の子供がいる親の負担をもう少しなくして欲しい。学校でも役員、地域でも役員で、いつまで役員をしないでほしいのかと思う。(女性・40歳から49歳)
- とても住みやすく、子育てしやすいと感じています。周りに困っている人がいれば、お互い助け合いたいと思っているので、情報があればぜひ参加したいと思っています。(女性・30歳から39歳)
- 若い世代の方は地域福祉について深く知っている人が少ないと思う。地域福祉活動を若い世代にもっと広めるために、ネットをもっと活用し、学校へ具体的な資料を配布し、今の現状を伝える場面をもっと増やすと、もっと関わってくれる方が多くなると思う。今、困っている人は何に困っていて、誰が困っているか分かるものが身近にないため、協力したくてもしにくい。(女性・16歳から19歳)
- 子育て支援の充実。男性の育児休業の取得率の向上。子育て、子供を産む、仕事より子育てを優先しにくい環境。子供を大切にしたい。他県より鹿児島は子育てしやすいと言えるような強みがあれば良い。(男性・30歳から39歳)
- 夏休みになり学童保育がより必要となるが、開始時間が出勤時間よりも遅く、仕事に間に合わない時がある。共働きの方には時間が大切なので、学童保育の充実が必要と考えます。(男性・40歳から49歳)
- 私の地域の福祉活動は十分ではありませんが、町内会に関わっています。住んでいる地区では、町内会の高齢化を感じます。夜間の見回り、ゴミステーションの管理、公園の掃除など活動されており、地域の安全、安心を感じております。実家の方は、子供が少なくなり、会費徴収は持ちまわりで「高齢者同士の生存確認のようなもの」と言っています。少子高齢化が進めば「高校生町内会長」のような見守りも心強いです。鹿児島市が今後どのようなビジョンで地域福祉に取り組むのか、是非とも全国の市町村が視察にくるようなモデルケースを期待しています。高校、大学生の履修科目として、地域福祉ボランティアを加えて欲しいです。(男性・40歳から49歳)
- 不登校児童が学校以外で、特にオンラインでも低価格で授業が受けられるなどがあればよい。担任の先生は忙しいので、対応できる専門の先生が常駐してくれるとか。学校だけで対応が難しい事を、充実させてもらえたらと思います。(女性・40歳から49歳)
- 義務教育に課題がある。地域福祉活動をしっかり教えることが大切。(男性・30歳から39歳)
- 始良市に出勤した際に、小学生の集団登校時に、各横断歩道に高齢の方(もしくは保護者や警察官)が立っており、子ども達とも顔見知りになっていた。お仕事を引退されている方は、平日も自宅周辺にいらっしゃることが多いと思うので、防犯対策や子どもたちが困った時に、かけ込みやすいのではないかと思います。うちの近所ではあまりそのような活動が見られないので、参考になったらいいなと思います。(女性・30歳から39歳)

## ■谷山地区

- 子育てがしやすい世の中になって欲しい。介護予防に力を入れて欲しい。栄養価の改善。(女性・30歳から39歳)
- 子育て支援の充実と情報の提供。(男性・20歳から29歳)
- 児童福祉関係の仕事をしています。その中で人とのつながり、子どもがまた帰ってきたいと思える故郷(場所)があると、とてもよいのかなと思います。そのためにも地域での活動は大切であると思います。できるだけ自分のことを地域の活動で行っていきたくて考えていま

す。(女性・40歳から49歳)

- 社会福祉の内容が何なのか、どの様な部門があるのか知らない人がほとんどだと思います。困った時にどうすればいいのか、その困ったことが起こっている時には、人は正常な判断をすることができなくなります。思考能力も低下します。正常な判断ができる、困難なことが起こる前に、色々な情報を知っていると選択肢が増えると思いますので、福祉に関する教育は必要だと思います。(できるなら学生時代に)(女性・40歳から49歳)
- 地域の皆が心配のない生活ができる様にして欲しい。弱者への支援。2人目以降の子どもへの手当を充実。子ども医療費窓口負担を高校生まで無料。(男性・40歳から49歳)
- 子供を産んでも働き続けられる会社の理解と協力が必要。普段の生活の中から助け合いが当たり前になってくれるといいと思う。(依存ではなく)子育てには時間とお金がかかるので、フォローが欲しい。親がリフレッシュできる環境が増えて欲しい。(女性・30歳から39歳)
- 鹿児島小学校は制服が多いですが、今年のように猛暑の場合や大雨の時は、私服にするなど対策をして欲しいです。重たい荷物を持ち、水筒、首までつまったブラウス、帰宅した時は熱中症寸前です。(女性・40歳から49歳)
- 子供の教育を充実させるべき。子供のためにお金を最優先で使ってください。(男性・20歳から29歳)
- 子育てに一段落し、ボランティア活動など出来ることがあればとは思っているのですが、どのように、また、どこへ行けば分からない。(女性・50歳から59歳)
- 新型コロナウイルス感染症がもしも家族で出た時の地域の差別がない様にしていただきたい。学校、保育園など、新型コロナウイルスにならないための機械などをに入れて欲しい。一人親家庭の調査をもっとするべき。離婚届けを出していても、実際には付き合っていたりする人がたくさんいます。そういうところに支援ばかりあり、今回の新型コロナウイルスの時も、一人親世帯のみ5万円+支援がありおかしいと思います。もっと子育てに支援して欲しいです。(女性・30歳から39歳)

#### ■伊敷地区

- 自分の病気や子育ての中で、何ができるのか明確には分からないが、住みやすい、生活しやすい地域にもっともっとなるために、少しずつ地域の人や学校等での話しをする機会を増やしていければと思います。(女性・40歳から49歳)
- 住まいから気軽に行ける公園で、地域の子ども、親、高齢者との交流ができるとよいのでは。犯罪が多発する世の中であるのに、地域にあった交番がなくなってきている。市と警察署が連携し、パトロール強化するなど対策を検討して欲しい。市民税も有効に活用し、福祉支援を行って欲しい。(女性・30歳から39歳)
- 子どもが親ともっと関われる時間が作れるように、施設や行政サービスを整えて欲しい。時間やお金に余裕がなく、日々おわれている人もいます。保育園等の施設に預けっぱなしで、子どもがかわいそうだと思うことも多い。(女性・30歳から39歳)

#### ■吉野地区

- 子供の虐待、年寄りのひとり暮らしなどの支援。各家庭を訪問。郵便局に相談箱を設置する。地域パトロールを増やす。目立たない恰好で歩いてまわる。園児・小学生にも、先生以外で相談できる所を知らせて欲しい。逆に我々に何ができるのか、協力して欲しいのか教えて欲しいです。(男性・40歳から49歳)

- 市内5か所の子育て支援センターの廃止を撤回して欲しい。(女性・30歳から39歳)
- 生きにくい子供の力になりたい。(女性・50歳から59歳)

### ■桜島地区

- 若者の引きこもりが多いような気がします。親が元気なうちは良いのですが、親がいなくなったらどうするのだろうと考えた時、すごく悲しくなります。何とかできないのでしょうか。(男性・60歳から64歳)
- ベビーカーや車イスが通れるように、色々な所にスロープを取りつけて欲しい。様々な人が参加しやすいボランティアや行事をもっと増やすと、近所同士の交流が増えると思います。公衆トイレの洋式をもっと増やして欲しい。(女性・20歳から29歳)
- 虐待、暴力を受けている子供や人が積極的に相談、逃げられる環境を作って欲しい。貧困や病気で働けない人の支援。子育ての孤立感が少なくなるような支援。引きこもりの人に対する自立の手助け。桜島フェリー以外の交通手段を。フェリーの運営は、桜島に住む人々の意見を何も反映してくれない。交通弱者のための対策。老老介護の支援。若者の企業やフリーランス業への支援。(女性・30歳から39歳)

### ■吉田地区

- 子供達に、昔自分達が子供だった頃の話をしてあげたりしたい。一人暮らしの人とか、時々訪ねて一緒に楽しく話したりしたら良いと思う。(女性・75歳以上)
- 近頃の小学生は大人に会っても自分から挨拶しない。最近の若い方は町内会に加入しない人達が多いようです。従って、近所付き合いもないため、大人の上下関係ができないでしょう。子供達が参加出来る町内会の行事など増やしていかれてはと思います。(女性・70歳から74歳)
- 私達が子育てする頃から公園が少なく困った。お年寄りや子供など、たくさんの方が集える所をもっと欲しいです。自然と調和した所を作っていくことが、自然と福祉にも人間関係にもつながると思います。(女性・60歳から64歳)

### ■喜入地区

- 道徳的実践力の育成(学校との連携)。(男性・70歳から74歳)
- 子供が安心安全に遊べる施設を増やして欲しい。公園の遊具や砂場を充実させて欲しい。(女性・30歳から39歳)
- コロナでの学校の休校などで、子供の学力低下やコミュニケーション不足などの影響がそろそろ出てくるのではないかと思います。学校を病気で休んでいても、授業を見られたり、友だちと話が出来たりするために、タブレットを支給(レンタル)できるようになれば良いと思います。中学校の体育祭が3年の保護者のみの参加と制限されましたが、ライブ配信を試みて、家でも運動会の雰囲気を楽しむことが出来ました。コロナでないと進歩できなかったことや新しい発見があると思います。ライブ配信は出かけられない高齢者の方でも、家で子供や孫の活動を見ることが出来るという新しい発見がありました。コロナが収束しても、こういった新しい試みで、良かった所は続けていってもらえたら、もっと交流の場が広がるのではないかと思います。(女性・40歳から49歳)

### ■松元地区

- 自分自身の生活が充実していれば良いという考えの人が多くなってきている。貢献するという考えは失われつつある気がする。子どもの頃からの教育が必要と思う。(女性・50歳から59歳)
- 30年前と今ではライフスタイルが多様化しています。新しい団地と代々住んでいる方の多い地域とは、生活のスタイルも違います。そろそろ時代の流れに合うような町内会に変わっていかなければ、入会しなくなるのではないのでしょうか。校区の小学校に通うお子様のいる家庭の方が中心の町内会になっているのが現状のように思われます。(女性・50歳から59歳)
- 日本に住んでいる方が充実した暮らしができるようになって欲しい。特に貧困で困っている方には、子供たちが学校に行き勉強できる体制を整えて欲しい。(女性・40歳から49歳)
- 町内会に入る人がまばらで、入っていて年間10000円近い会費を払っているのに、その分の恩恵を受けていないように思える。その一方で高齢者への支援や活動はよく見かけるので、高齢者のための会費を払っているようにも感じる。これでは若い子育て世帯は町内会へは入会しないのも分かる気がする。若い子育て世帯にも恩恵を受けられる仕組みを作って欲しい。例えば、子育て世帯には託児サポート券を配布して、月に何回か近所の公民館等を利用して、高齢者や手が空いている地域の人達が託児を行うなど。高齢者は小さな子供とふれあう事ができて、お母さん達は少し自分の自由な時間を持つ事ができる。この少しの自由な時間というのが、お母さん達が1番欲しいものだと思う。(女性・40歳から49歳)
- 災害時など、1人暮らしで困っているお年寄りの手助けを、地域住民が気にかけてできるようにしたい。小さな子どもがいる家庭には、月1~2回くらい様子を見に、民生委員や福祉支援員が自宅を訪ねて子育てについての悩み等を聞いてあげるような機会があったら、子育てのストレス等を抱え込まず、児童の安全も見守る事ができる。保育士の経験を生かし、アドバイス等やっていけたらいいと思う。(女性・50歳から59歳)
- 私の地域は特に若い夫婦が多く、小さな子供もたくさんいます。新しい家もどんどん増え、にぎやかになっているのはいいですが、遊び場がありません。特に公園です。町内会には入りたい気持ちはありますが、実際あるのか分からない状況です。もっとふれあいの場が増えたらいいなと思います。(男性・30歳から39歳)

#### ■郡山地区

- 意見なし

#### ④障害者福祉について

##### ■中央地区

- 近所の高齢の障害者の方のゴミ出しや庭木の剪定などを、ボランティア活動としてやっています。そこで感じるのは、何名かの支援員の方がいらっしゃるのですが、お互いに問題が共有されていないと思われる時があります。各組織間の横の情報交換などの繋がりをお願いしたい。(男性・70歳から74歳)
- 姉が障害者だったので、死亡保険金を受け取り、一割を福祉の方に寄付させていただきました。コロナでマスクが不足し、近所の方々に手作りマスクを作って差し上げています。(女性・70歳から74歳)

##### ■谷山地区

- 車のない自分たちは、遠くに買物に行くことが出来ません。年間一度で良いから、車で連れ

て行って、買物が出来るボランティアが欲しい。障害者には大きな荷物を持って帰ることができません。タクシー代も多くかかります。(女性・75歳以上)

#### ■伊敷地区

- パニック障害で引きこもりです。話し相手もいなくて孤独。(男性・60歳から64歳)
- 1人親世帯や生活に困っていても安心して暮らせる町、障害があっても、生涯安心して親も子も暮らせる町を鹿児島市が目指してくれたら良いなと思います。就労施設で作った物のPRや母親クラブの助成金を市が出して活動を後押ししていることも、もっともっとPRして良いと思います。(女性・40歳から49歳)
- 小野にあるハートピアは、障害者向けの施設ですが、いざ地震や災害が起きた時は、障害の方のみならず一般の地域の方等も避難所として利用することが出来ないのはもったいないと思います。災害時等は普通の人でも大変なのに、障害を持った方は少しの段差だけで入ることすら出来ないし、トイレを使うことも出来ません。市営住宅は、空きが多いのに車イスで使える住宅が少なすぎます。車イスで、家を借りたくても借りられる物件がほとんどなく、また、賃貸では、トイレやお風呂等もリフォーム出来ません。(女性・40歳から49歳)

#### ■吉野地区

- 自分に障害があり、現在、福祉施設に通所していますが、月々もらう給料は1万円位で、将来に対して不安がある。地域での福祉活動は表面上だけで、親が迷走している状況です。(男性・20歳から29歳)

#### ■桜島地区

- 意見なし

#### ■吉田地区

- 意見なし

#### ■喜入地区

- タクシー券利用時、ドライバーによっては「券で手帳があります」と伝えると態度が急変し、そっけない態度になる人が多く、利用する度にとても嫌な思いをする。健康体の方々には障害者の気持ちが理解されてなく残念に思います。(女性・60歳から64歳)

#### ■松元地区

- 車椅子なので、あらゆる所でバリアフリー化が進んで欲しい。(女性・20歳から29歳)

#### ■郡山地区

- 意見なし

#### ④その他

##### ■中央地区

- 行政の方が福祉に心を砕いておられることに感謝します。コロナ禍の現状は仕方ないと思いますが、参加される方は積極的な性格、興味の深い方。参加されない方は、出不精な性格、

外出の手段がない人、体が不自由な人。色々な理由で参加者が少ないのは残念ですが、これからも情報発信は楽しみにしています。(女性・70歳から74歳)

- 自宅が小学校の通学路になっているので、登下校時に児童と会った場合は、挨拶に心掛けており継続したい。毎日1時間程度散歩しているが、その時、擦れ違う人との会釈に心掛けており継続したい。(男性・70歳から74歳)
- 今年1月に単身赴任で来ました。知人もいなくて、マンションの住民に知り合いもない現状です。すべてが分からない状態です。(男性・60歳から64歳)
- 困っている人の手助けやボランティア活動などできるといいのですが、家族の健康(障害の子ども)を守る事で日々の生活に追われ、役に立つことが出来ず少し残念です。(女性・70歳から74歳)
- 団体等が個々に活動するのではなく、一体となって活動をする必要を感じる。そうすることによって、団体等の連携意識が芽生え、個々に活動するより何倍も強化できるのではないかと思う。(男性・70歳から74歳)
- 福祉の情報は伝わっていないことが多く、不透明なことも多いと思います。また、興味関心も低く、介護・福祉施設で働く現場は慢性的な人手不足であり、決して給与面も良いと言いきれません。ですが求められることは多いのが現状です。もっと福祉に携わりたいと思えるような広報、改善をして欲しいです。(男性・30歳から39歳)
- 各団体、機関で担っている事で重複しているものは一本化し整理すると、市民も頼る窓口が明確で分かりやすいと思います。(女性・40歳から49歳)
- 今まで必要がなかったこともあり、今回のアンケートで数多くの団体の存在を知った次第です。今後の事も考えて色々知っておかなければと実感しました。(男性・70歳から74歳)
- 糖尿病を患っているが、それでもパートをしないと生活が大変です。地域の活動に協力をとしますが体力が続かないです。(女性・70歳から74歳)
- 自分に何ができるのか分からない。地域がどういう人材を求めているか分からない。(男性・70歳から74歳)
- 福祉の事を自分では分かっているようで全然分かっていなかったと感じました。年齢からして、できる範囲で、また、体と相談しながら地域に貢献したいと思いました。(女性・70歳から74歳)
- 行政の担当者として福祉活動を住民と一緒に頑張りましょう。(男性・60歳から64歳)
- 見えないところで困っている市民を見つけ出せるような取組が必要であると考えます。(女性・20歳から29歳)
- アンケートを通じて福祉に関して自分の考えが漠然としていることに気付かされました。個人個人が意識することが大切だと思いました。(女性・60歳から64歳)
- 現在は会社員のため仕事を中心だが、63歳であり、これからは社会への貢献を少しでも自分でできる範囲で実施したい。このような活動が、肉体的にも精神的にも自分のためにもなると考えている。(男性・60歳から64歳)
- コロナの影響で生活が困窮している人達のために、もっと身近に手助けできる機会があれば良いなと思います。寄付やボランティアなど協力したいと思っている人はたくさんいると思います。私自身、少しでも困っている人達を助けたいという気持ちはあっても、どう行動すれば良いのか分からずもどかしいです。(女性・20歳から29歳)
- 色々な組織・団体があり、役職を持っている人がたくさんおり、施策の多様性は伺えるが、屋上屋を重ね、役割・カテゴリーの活動で一体感がなくバラバラな印象がする。全体を整理

- し、役割分担を明確にし、窓口となるコーディネーターが必要。(男性・70歳から74歳)
- ホームページの情報が不足していると思う。現在妊娠中で保育園の情報や手続きについて知りたいのに何も分からない。働いているので中々、市役所にも行けない。もう少し分かりやすくしていただけたら助かります。(女性・20歳から29歳)
  - ご近所はそれ程のお付き合いはないが、となり近所の方々とはあいさつするだけ。知人が近くに住んでいるのでいろんな事は話し合います。80歳になって健康面を大事にみなさんに迷惑かけないよう日々生活しています。(女性・75歳以上)
  - 介護が必要になって初めて地域包括支援センターや民生委員を知り、その後、要支援から要介護になり、たくさん、市の福祉にはお世話になりました。自分たちの「老」も、親を通して理解が深くなり、近所付き合いも丁寧に心がけるようにしています。(男性・60歳から64歳)
  - 新型コロナウイルス感染症に感染したとき、誹謗中傷を受けないか心配なので、対策をしてもらいたい。(男性・16歳から19歳)
  - 形だけの行政では現実を見る事ができないと思います。公務員目線では良い方向に向かないと思います。(男性・65歳から69歳)
  - 民生委員さんのご苦勞、負担が大きいので、人数を増やし、報酬が出るようにするなどの対応が必要だと思います。(男性・40歳から49歳)
  - 何よりも大切なのはコミュニケーションだと思います。今は人と人のお付き合いが希薄になっている気がします、皆さんとご挨拶できる事が小さな幸せにつながっていくと思います。“笑顔であいさつ運動”を広げていけたら嬉しいです。(女性・70歳から74歳)
  - 税金の有効活用。本当に必要なところに投入。無駄なところは削減。(男性・40歳から49歳)
  - もっと気軽に、身近な話題やトピックスの情報を広報してもらい、教えてもらいたいと思います。(男性・60歳から64歳)
  - 行政のほとんどは申告しなければ何も得られない。福祉も同じ気がします。出されている情報も分かりづらいことが多く、気軽に尋ねづらく、敷居も高く感じています。(女性・50歳から54歳)
  - 今回の調査に答えるまで、市内・県内の福祉活動について考えたことがありませんでした。市内の福祉活動等の情報は、もっと大規模に行うことが大切かと思います。若者の目に留まれば、少なからず地元へ興味が向くのではないのでしょうか。例えば、進学校であったとしても地域社会への貢献活動を取り入れるべきだと思います。住民とのコミュニケーションは、青少年の豊かな人格の形成にも影響するでしょう。市民の声を取り入れ、充実した福祉活動を行って欲しいです。(男性・16歳から19歳)
  - 地域福祉について、分からないところや勉強不足がありますので、これからは色々な情報や知識を得たいと思います。(女性・70歳から74歳)
  - 福祉の情報は紙媒体で目にすることが多いですが、新聞や冊子など目を通して、情報量が多すぎるのと名称が分かりにくく、自分が求めている支援の情報に辿りつくのも大変な印象です。(女性・30歳から39歳)
  - 声がかかれば自分にできる範囲の事なら、学びながら何でもやってみたいと思います。(女性・60歳から64歳)
  - 今何が必要で何が不足しているのか等、困っている事のアンケート調査を実施し、細かい手助けができる活動があって欲しい。(女性・60歳から64歳)
  - 利用者からのアプローチも必要ですが、活動団体のアピールがあれば、たくさんの道が開け

るのですが、今は施設に頼ってばかりです。認識不足と不安で中々踏み込めないのが現実です。福祉の活動を利用して、さらに充実した生活が送れるといいと思います。(男性・20歳から29歳)

- 知らないものや実態が分からないものが多い＝周知されていない。情報を求める者にしか分からないのであれば、手助けも何も来ないのでは。(女性・30歳から39歳)
- 塵出しを助けていただければと思っています。(女性・70歳から74歳)
- 市役所には業務が集中している部署があるように思える。効率化を行うことに対して、福祉全体で前向きになって欲しい。例えば、情報の管理に関しては、DBを利用して、同一事業が多発している場合には、それが早期に分かるように対応をスピーディにして欲しい。(男性・30歳から39歳)
- 鹿児島市は県内屈指の医療機関を抱えており、医療提供体制は整っていると考えられる。しかしこれからの年少人口の急激な減少、高齢者人口の急激な増加を考えると、医療体制の逼迫に陥ることも考えられる。疾病の発症予防に強く重点を置いた、例えば福祉館を活用した出張(医師や看護師)講座で、より身近に考えてもらうことが求められると感じている。また、新型コロナウイルス感染症やその周囲の人への誹謗中傷が目立つとも感じる。未だに40年前のような人権意識を持つ人がいることには驚きを隠せないが、より一層個人の守られるべき権利について学習し、定着させることも必要なのではとも感じている。(男性・20歳から29歳)
- 困っている人のためにお手伝いをしたいとはテレビ等を見て感じているが、自分や家族の事で今は精一杯。(女性・50歳から59歳)
- 仕事、子育てで精一杯なのに地域の困っている方へ無償で奉仕する余裕が今はありません。ゆとりが出てきて、何かのきっかけがあれば、その時考えると思います。(女性・40歳から49歳)
- 一般の方は関心が薄いと思うので、専門の方々がリーダーシップをとって、率先して活動していけばいいと思う。(男性・40歳から49歳)
- 大学生の一人暮らしだと、たまにポストに入っている広報誌と地方テレビの番組でしか情報を得られないので、大学を通して情報が得られたらと思う。(女性・16歳から19歳)

## ■谷山地区

- 出来るだけ人と関わりたくない性分である。自分のことはすべて自分でやるように心掛けている。(男性・65歳から69歳)
- 地域を走るバスがなくなり、車を使用しない年齢の方がとても不便を感じると良く耳にします。団地の多い鹿児島市に、取り残される団地を作らないことも福祉の一つかなと思います。(女性・75歳以上)
- 「福祉」とはなにか、行政が関わる理由はなぜか。中心の福祉課はその仕事をどう考えているのか、そこが見えません。団体の連携を強化するということに疑問がある。(女性・65歳から69歳)
- 買い物が不便で、バス路線の減少なども考えると、食料需給に関してはお互いが助け合えないといけない環境にあると思います。相談できる場所や地域おこしができる環境があつていいと思います。人に優しい思いやりのある行政、温かみのある人との接触というものを心がけていけたらと思います。(女性・60歳から64歳)
- 福祉館の設備を充実して欲しい。(男性・30歳から39歳)

- 自分自身の生活が大変で余裕がない。若者の参加が必要。(男性・65歳から69歳)
- 災害時、緊急時のツイッターなどのSNS活用がいまいち。広報の最新の情報伝達が弱いと思います。高齢の方は従来の方法でよいが、スマホ持ちの方は少しずつSNSの活用エネルギーをシフトして欲しいなあとと思っています。(女性・40歳から49歳)
- 集落の集会が出来なくなった。何とかして交流の場を作りたいがうまくいかない。現在ゴミステーションのネットに取り付けた掲示板による広報だけが唯一の手段。コロナ禍における交流の在り方、集落会議の在り方に新しいスタイルというものとはどんな形があるのだろうか。行政側でも参考例を示してもらいたいものだ。(男性・65歳から69歳)
- 介護生活10年以上になりますが、最初の頃は何をどうすればいいのかわからない事だらけで、戸惑いや不安ばかりの日々でした。現在は、ケアマネージャーの方に相談できて安心ですが、介護も子育ても気軽に相談できる人材なり場所があれば良いのと思います。(女性・50歳から59歳)
- 地域で困った一人暮らしのお年寄りがいたら知り合いになり、本人ができないことを自分ができる範囲で協力していきたい。(男性・16歳から19歳)
- 何をしたらいいのか、何が出来るかなど分かりません。会社のボランティア、ペットボトルのキャップ集めや被災地に古タオルを送るなどの出来る協力をしています。まだ出来る事もあるのか分かりません。もっと教えて欲しいです。(女性・50歳から59歳)
- 集合住宅に住んでいるのですが、以前は普通に人間関係も交流もあったが、新たな人達が増え、イジメの対象となり住みにくくなって、大変苦しい現在です。(女性・60歳から64歳)
- 情報が入らず、亡くなった方が近所におられても分からない位です。福祉の意義もよく分かりません。困った時に助けて下さる役所であって欲しいです。(女性・65歳から69歳)
- 困っている人を助けてあげたい気持ちは十分あるのですが、体力的に自信がないので何もできません。(男性・60歳から64歳)
- 困っている人のために何らかのボランティアの要請があれば参加したいです。(女性・50歳から59歳)
- 生活困窮者、引きこもりの方への支援に注力する必要があると思われるので、相談員として支援に関わることが出来たらいいと思います。(男性・60歳から64歳)
- より多くの人と接する企業なり、店舗等からの働きかけが重要だと思う。(男性・60歳から64歳)
- 福祉に関する委員、団体の一覧と関係、役割が分かるように広報にして頂けると皆助かると思う。市民全員が福祉の取組状況を理解すれば、課題や改善点なども更に見えてくると思う。一家に一枚、市の福祉ポスターのような形で配って頂けるとよく分かると思われ、理解が進むと思う。(女性・40歳から49歳)
- 家族がいれば福祉全般に関心ができるかもしれないが、独り身で仕事ばかりの日々を送っていると、興味もなく無関心となっている。身近に関わりがある情報などがなければこのまま歳を重ねていこうと思う。(男性・30歳から39歳)
- 福祉を充実させるために、まず福祉に携わる職員同士の円満な人間関係が最も大切な事ではないかと思います。職場内が、いじめや悩みを抱えた状態では、自分自身が満たされず、色々な福祉活動に十分な事ができないと思いますので、まず、福祉に携わる職員の皆さんのケアあつての活動だと思います。(男性・50歳から59歳)
- コロナの中、交流をする事が難しいですが、必ず収束すると信じ、福祉活動として出来る事は、電話での声かけ、玄関訪問やポストへの手紙など、今出来る事を少しずつやっていた

らと考えます。(女性・20歳から29歳)

- 人とお話をうまくする事ができないので、公園の掃除などをお手伝いしたいと思っています。(女性・60歳から64歳)
- バスの便が少ないので買い物が不便です。(女性・60歳から64歳)
- 校区社会福祉協議会、鹿児島市地域福祉協議会、地域包括支援センターでどのような活動をしているのかよく分かりません。また、民生委員・児童委員については聞いたことはありませんが、どのような事をしているのか分かりません。(女性・50歳から59歳)
- 近所の1人暮らしの方が認知症で頼って来られるので、お世話をしていたが、物がなくなると私が盗ったと言われ、その方のケアマネージャー、民生委員、県外の息子さん達にも話をしてお世話を辞めました。私も家族の介護をしており、認知症は1人1人違うし、性格もあるので難しいと思う。近所の人達も火事が怖いと話しています。(女性・65歳から69歳)
- 地域福祉活動の情報をもっと多く知りたい。(男性・70歳から74歳)
- AEDの使い方や救命措置(処置)の研修などあればよい。(男性・70歳から74歳)
- ボランティアはどんな事があるのか分かりません。(女性・50歳から59歳)
- 今回、様々な団体があり福祉の活動をされていることを知りました。正直どんな団体がどんな活動をされているのか、学校や親の介護など自分が関わりのあったところ以外は知りませんでした。情報をもっと分かっていたら、色々参考になることもあるのではないかと思います。コロナの中では、人と関わるのが少し難しく感じます。テレビやメディアを使って情報提供していただくと、いざという時、役に立つのではないかと思います。(女性・50歳から59歳)
- 福祉活動等は二極化が進んでいると思います。やりたいと思っている人は多いと思います。そのような方が動き出せるきっかけが始まりであり、そのきっかけとなるようなポイント作りをお願いします。また、地域のつながりが少なくなっている今、そのきっかけが大きく二極化していると思います。何か周囲の住人とのつながりや接点を結びつけられれば、社会や福祉へとつながるのではないかと思います。(男性・40歳から49歳)

### ■伊敷地区

- 人が生きていくということは自己責任第一だと考えます。困った時には頼れるように、親兄弟、親戚との付き合いは大事にしています。節約して生活が困らないようにもしています。近所との付き合いも大事にし、コミュニティの活動も参加しています。(女性・40歳から49歳)
- 興味の無い人達へ届く情報発信や参加したくなるような施策を望みます。(男性・30歳から39歳)
- 自助が一番大切だと思います。健康な体づくりで、はじめて自立し、他に目をむけることができる。(男性・60歳から64歳)
- 国の負債が多すぎて自分の将来が不安。鹿児島には桜島もあるし、地震も今から起こると思われる。どこの県も金がなく助けてもらえないと思う。気持ち的にも金銭的にも余裕のある人がどれほどいるのでしょうか。(男性・60歳から64歳)

### ■吉野地区

- 夫婦共県外出身のため、産後にファミリーサポートを利用しようとしたが、制度が難しいのと書類が多いのと支援者さんとの日程が合わず利用しなかった。産後間もない人には利用し

にくい。もっと民間のサービスのよう利用しやすく改善して欲しい。(女性・30歳から39歳)

- 「福祉」という言葉を意識することなく、生活の中で普段から地域のつながり、ボランティア活動、災害対応が自然と形作られ、生活の中に生かされている状態を目指して欲しい。(男性・60歳から64歳)
- 福祉活動の内容が多岐にわたっており、また、今自分が必要とすることが年々により違っており(福祉以外の問題もあり)、その時々でスポット的対応となっている。コロナ対策とも勘案しながらどの様な事が必要なのか、行政からもっと発信してもらいたい。(男性・70歳から74歳)
- コロナウィルスに関する衛生面の勉強をしたいので、市民のひろばで是非教えて下さい。(女性・50歳から59歳)
- 福祉に携わる人材の育成を望みます。(女性・50歳から59歳)
- 困っている人は我慢している。どうしたらいいのか分からない。どこに相談すればいいのか。まず一歩提案して欲しい。(男性・60歳から64歳)
- 隣の家の枝がたれ下がってきており、伸びた枝を少し切って欲しいが、まるで交流のないため声かけも難しい。(女性・70歳から74歳)
- 現在、行っていることはごみステーションの清掃です。これ位しか私にはできません。他人様のプライバシーに足を踏み込むことには一種のためらいがあり、中々難しいことです。(女性・60歳から64歳)
- パートタイムで働いているので、中々余裕のない状態です。これを機会に自分達の将来を含めて考えていかなければと思います。(男性・70歳から74歳)
- 自分の生活で精一杯で余裕はない。地域で困っている人の内容が分からないと自分に何ができるのか分からない。(女性・50歳から59歳)
- 昨今、災害が多く発生し、これからも大きな災害が起こる可能性が大きいと思われる。自分自身が何をすべきなのか、何ができるのか常日頃考えておく必要性を感じる。(女性・65歳から69歳)
- コロナウィルスの関係で情報が少なくなっている。個人情報の事もあるが、どのような地域で感染が起きたのかなどもう少し詳しく教えて欲しい。地域福祉の活動においてもしっかりとした情報がないと、参加したくてもどうしても感染の恐れが先に立ってしまい戸惑ってしまう。(男性・40歳から49歳)

## ■桜島地区

- 出来ることはオンラインでやってみるという試みがあってもいいかもです。世の中の新しいやり方を取り入れて、何でも中止にせずに行っていくべきではと思います。(女性・30歳から39歳)
- 困っている人の意見を聞くことはできると思うが、その情報を一元化した所に集約できないだろうか。(男性・50歳から59歳)
- 元気に過ごすことに全力、マイペースで。無理なく協力できればと常に心がけます。(女性・70歳から74歳)
- 程よい距離での見守り。自分に出来ることをやる(必要なら)。(女性・70歳から74歳)
- 毎月、朝清掃がありますが、コロナウィルスの関係で中止にして欲しい。(男性・60歳から64歳)

### ■吉田地区

- ボランティアで従事してくれている方々が少なくなっている。(男性・70歳から74歳)
- みんなが集う場所、いつでも開放しており、気の合う人とおしゃべりしてお茶を飲んで過ごせる場所があったらと思う。年寄りが温泉や病院で会話を楽しむような、あそこに行けば元気がでるという場所。(女性・50歳から59歳)
- 困った時、ある所に相談に行ったが思うような答え、進むべき道が見つけれず、人をあてにしてはいけないと思った事がある。聞く人の側に経験が浅かったりすると、相談する人の話が見えて来ないのだと思う。人の力になるというのは易い事ではありません。(女性・65歳から69歳)
- 私もいつ介護される側になるか分からないので、色々な情報を欲しいと思います。(女性・50歳から59歳)
- コロナに対して、外出はしない、予防を徹底することが今の役目だと思っている。次の世代を作る子供の育成の中で、節約と環境問題に取り組んでいるつもりです。本当に必要なものかどうか十分に考えられるように、ゴミ問題も親子で取り組む事を日々の生活の中で行っている。(女性・50歳から59歳)

### ■喜入地区

- コロナで、県をまたいでの移動、規制など仕事でも影響がありました。これから高齢者となり時間を持て余すとき、地域活動の中で楽しみを見つける必要があると感じています。(女性・60歳から64歳)
- コロナウィルスの影響で帰省できない方々やこれからのためにも、遠隔操作技術を利用した介護システムの構築に力を入れて欲しい。また、これだけにとどまらず、新たな介護サービスの開拓も是非行って欲しい。鹿児島に介護のために帰ってきたり、余生を過ごすために移住したりする人たちが不自由なく暮らせる、便利さと自然の豊かさを兼ね備えた都市になることを願っている。(男性・16歳から19歳)
- 他人の幸せも不幸も自分と同様の立場と考え、できるかぎり相手の立場に常に思う気持ちを心得たい。(男性・60歳から64歳)
- 少しの時間でもできる活動があれば参加してみたいと思います。ひとりの見守りを10人位のチームでサポートするとか、その人のできる範囲で無理なくできることがあれば参加する人も増えるのではと思います。(女性・60歳から64歳)
- 高齢者施策もですが、生活保護の方へのケアについてももう少し真剣に取り組んで欲しい。ある生活保護の方が高い買い物ばかりしているのにチェックが働いていない。(まともに保険料払っている私達が馬鹿みたい。そんなのを見ると自分たちも生活保護を・・・となるのは当然)(男性・30歳から39歳)

### ■松元地区

- 季節によっては、野菜など食べきれない時があるので、気軽に受け付けてくれるところがあればいいと思う。(女性・65歳から69歳)
- 毎日を大切に過ごす事で精一杯。(女性・75歳以上)
- 生活困窮者や生活保護対象者をしっかりと判断して欲しい。もらっている人の方が裕福な生活をする社会って。ブランド物やPCを自慢気を持っているのはなぜ。本当に病気や身よりの

ない子どもなどに有意義に使うて欲しい。町内会や子ども会があるのかどうか分からない。強制的な勧誘はやめて欲しいが、情報は欲しい。その上で加入は選択させて欲しい。(女性・30歳から39歳)

- 新型コロナウイルスが収束する事が重要であり、しっかりとした感染対策のとれていない無理な地域活動により、感染のリスクが高まる事は避けていただきたいです。また、感染予防のためにも、福祉施設や病院などへのサポートの充実を望みます。(女性・30歳から39歳)
- 家族や周りの人達に迷惑をかける立場なので、夫婦2人で出来るかぎりのことはしていこうと思っています。だから、他の人達への心配りは余裕がないです。(男性・70歳から74歳)
- コロナ禍での避難所のあり方など知りたい。DV、モラハラなどから逃れる仕組み、逃げられる建物や賃貸があればいいと思う。(女性・30歳から39歳)
- 犯罪防止のための防犯カメラの設置(交差点の電信柱等)。交通事故防止のためカーブミラーの設置。外国人労働者(地域に住む)への指導、支援。(男性・40歳から49歳)
- 地域福祉館、子育て支援施設、高齢者福祉センター、保健センターなどは、それぞれ維持費がかかるので、できるだけまとめた方がよい。児童相談所は県にあるので、市で整備する必要はない。二重行政である。(男性・50歳から59歳)
- 福祉活動というものがどういうのが当てはまるのかが分かりません。(女性・30歳から39歳)
- 災害や生活困窮などの事象が発生した時には、(自治公民館・コミュニティ内で)積極的に貢献したいとは思っています。(男性・60歳から64歳)
- 鹿児島市の福祉はこうなっています、地域ではこうです、相談する場合の連絡先はここです、みたいなパンフがあれば良いと思いました。(男性・70歳から74歳)
- 清掃活動などのボランティアに積極的に参加してみたい。(男性・20歳から29歳)

## ■郡山地区

- 路線バスの本数を増やして欲しい。(女性・16歳から19歳)
- 中々時間がなくやりたい気持ちはあるが、一人暮らしで子供達も仕事で忙しいので、もう少し自分の気持ちを外に出さなくては良く分からないなと思います。役に立つ事はしてあげたい気持ちはあります。(女性・65歳から69歳)
- 私は音楽療法士として、高齢者施設、障害者施設、病院でお仕事をさせていただいています。社協や子育て支援でもさせて頂いていますが、無料で受講できる公民館講座等をさせて頂いたら、受講した方がご自分の施設や病院で生かせるのでは。育成の場があったら良いのにといつも思っています。元気な方だけが受講するのではなく、不自由な方も参加できるように支援しながら。その支援の部分は、上の団体の方達や市や県の行政だと思えます。(女性・50歳から59歳)
- 行政担当者のレベルアップ。各協議会等職員の人材育成、教育の徹底が必要と考える。(男性・70歳から74歳)
- 福祉館は立派な建物ですが、利用されている様子は見られません。住民に分かりやすい利用法を知らせて欲しい。折角の建物を、もっと使えたらいいですね。私たちも84歳の夫と79歳です。民生委員の方が時々顔を見せてくださればありがたいです。地域包括支援センターでは、個人からの申し出があった方のみを対象に動かれているのでしょうか。(女性・75歳以上)
- 主人の介護と通院の付き添いが大変。同じ市内でもバスの便が悪く、タクシー代は1回5千円以上で年金生活では大変。(女性・70歳から74歳)

- 住んでいる所は様々な活動をしていると思うが、強制や活動の意味がないものが多い気がする。活動は大切だと思うが、とても住みにくくしているのも考えて欲しい。強制の活動はたくさんあるが、いざという時や困っている時は何もしていないように思える。(女性・30歳から39歳)
- 困っている人がいたら何かしてもいいが、どこで何を求められているのかが分からない。(女性・40歳から49歳)
- 鹿児島の旅番組を作って、市民に見てもらおう。市民の生活の工夫や楽しみをインタビュー形式で紹介し、視聴者の暮らしに役立ててもらおう。自分の地域、身近な人がテレビに出ることで地域に対する思いが高まりそう。(女性・40歳から49歳)

#### ■居住地区無回答

- 一人で生活していると近隣住民と会うこともなく、最近では挨拶をするだけで不審者扱いされる事もあるので、声をかける事さえリスクだと思っています。その中で、繋がりを築くことは難しいと考えます。人と人の中継役になる方がいれば良いかと思えます。(男性・40歳から49歳)
- 今年、台風が鹿児島に上陸しました。私たちは水を買ったり、パン、カップ麺を買ったりしましたが、高齢の人たちは何がなんだか分からない様子でした。市が高齢者に、電話でもいいし、訪問して危ないこと、水や食べ物が必要なこととか教えてあげて欲しい。(女性・40歳から49歳)



**地域福祉全般についてお聞きします。**

**問8 あなたは、現在、次のような悩みや不安を感じていますか。(複数選択可)**

- |                       |           |              |
|-----------------------|-----------|--------------|
| 1 自分や家族の健康            | 2 近所との関係  | 3 経済的なこと     |
| 4 家族の介護               | 5 子育て     | 6 大雨や地震などの災害 |
| 7 困ったときに頼れる人が身近にいないこと | 8 買い物等の外出 |              |
| 9 特に悩みや不安はない          |           |              |
| 10 その他(具体的に           |           | )            |

**問9 あなたは、悩みや不安を感じたとき、誰に(どこに)相談することが多いですか。**

**(複数選択可)**

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1 家族・親類               | 2 友人・知人           |
| 3 町内会・コミュニティ協議会等の地域団体 | 4 近所の人            |
| 5 民生委員・児童委員           | 6 校区社会福祉協議会       |
| 7 学校                  | 8 行政の関係課          |
| 9 鹿児島市社会福祉協議会         | 10 地域福祉館          |
| 11 地域包括支援センター         | 12 地域福祉支援員        |
| 13 病院・福祉関連施設          | 14 相談したいができる人がいない |
| 15 誰にも相談したくない         |                   |
| 16 その他(具体的に           | )                 |

**問10 あなたは、「民生委員・児童委員」を知っていますか。(○は1つだけ)**

- 1 名称も活動内容もよく知っている
- 2 名称は知っており、活動内容も少しは知っている
- 3 名称は知っているが、活動内容は知らない
- 4 名称も活動内容も知らない

**問11 あなたは、「鹿児島市社会福祉協議会」を知っていますか。(○は1つだけ)**

- 1 名称も活動内容もよく知っている
- 2 名称は知っており、活動内容も少しは知っている
- 3 名称は知っているが、活動内容は知らない
- 4 名称も活動内容も知らない

問 12 あなたは、概ね小学校区単位で組織され、各地域において、福祉活動を実施している「校区社会福祉協議会」のことを知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 名称も活動内容もよく知っている
- 2 名称は知っており、活動内容も少しは知っている
- 3 名称は知っているが、活動内容は知らない
- 4 名称も活動内容も知らない

問 13 あなたは、校区社会福祉協議会にどのような活動をしてほしいとお考えですか。  
(複数選択可)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1 住民が気軽に参加できる交流活動   | 2 子育てサロンなどの子育て支援      |
| 3 子ども食堂(地域食堂)への支援   | 4 敬老行事などの高齢者支援        |
| 5 認知症や介護予防などに関する研修会 | 6 要支援者に対する見守り活動       |
| 7 要支援者への災害時の支援活動    | 8 地域の困りごとに関する相談への対応   |
| 9 買い物や通院などへの支援活動    | 10 福祉マップや広報紙などによる情報提供 |
| 11 分からない            |                       |
| 12 その他(具体的に         | )                     |

問 14 あなたは、地域福祉の推進拠点施設である「地域福祉館(41館)」を知っていますか。  
(○は1つだけ)

- 1 名称も施設機能もよく知っている
- 2 名称は知っており、施設機能も少しは知っている
- 3 名称は知っているが、施設機能は知らない
- 4 名称も施設機能も知らない

問 15 あなたは、福祉に関する情報をどこで入手しますか。(複数選択可)

- |             |              |           |
|-------------|--------------|-----------|
| 1 市民のひろば    | 2 市役所の窓口     | 3 福祉館だより  |
| 4 地域福祉館     | 5 地域包括支援センター | 6 近所の人・友人 |
| 7 新聞・雑誌     | 8 インターネット    | 9 社協だより   |
| 10 テレビ・ラジオ  | 11 病院・福祉関連施設 | 12 地域の回覧板 |
| 13 その他(具体的に |              | )         |

問 16 あなたは、地域住民同士の交流や助け合いについて、どのようにお考えですか。

(それぞれ○を1つだけ)

	1 そう 思	2 やや 思う	3 どちら とも言 えない	4 あまり 思 わない	5 まったく 思 わない
(1) 地域で助け合うことは大切であり、そのためにも日頃の交流が必要	1	2	3	4	5
(2) 困ったことがあれば地域で助け合うべきだと思うが、日頃の交流はしたくない	1	2	3	4	5
(3) 困ったことがあれば行政や関係団体等が支援すべきなので、日頃の交流は必要ない	1	2	3	4	5
(4) 心身の不自由な人々の考えや意見を聞いてみたい	1	2	3	4	5
(5) 生活困窮者が抱えている生活上の課題を知りたい	1	2	3	4	5
(6) 身寄りのない人のためのボランティア活動に参加したい	1	2	3	4	5
(7) 地域で困っている人や助け合いの方法についての情報が欲しい	1	2	3	4	5
(8) 地域福祉活動への参加を求められたら協力する	1	2	3	4	5
(9) 外国人も地域社会に溶け込むことができる	1	2	3	4	5

問 17 あなたは、鹿児島市の福祉施策について、今後、何に力を入れるべきとお考えですか。

(複数選択可)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 福祉に関する相談窓口の充実 | 2 福祉に関する情報提供や案内の充実 |
| 3 地域で支えあう仕組みづくり | 4 福祉に関する研修・人材育成    |
| 5 福祉施設の充実       | 6 福祉教育             |
| 7 子育て支援         | 8 高齢者福祉            |
| 9 介護予防          | 10 健康づくり           |
| 11 障害者福祉        | 12 認知症の方への支援       |
| 13 ひとり親家庭への支援   | 14 引きこもりの方への支援     |
| 15 生活困窮者への支援    | 16 ボランティア活動への支援    |
| 17 保健・医療サービスの充実 |                    |
| 18 その他(具体的に     | )                  |

**あなたがお住まいの地域（おおむね小学校区くらいの範囲）について、お聞きします。**

**問 18 あなたは、お住まいの地域に愛着を感じていますか。（○は1つだけ）**

- 1 とても感じている      2 少し感じている      3 どちらともいえない  
4 あまり感じていない      5 全く感じていない

**問 19 あなたは、今後も現在の地域に住み続けたいと思いますか。（○は1つだけ）**

- 1 住みたい      2 どちらともいえない      3 住みたくない

**問 20 あなたは、地域の活動に参加していますか。（○は1つだけ）**

- 1 参加している      →（問 21、22 へ）  
2 以前参加していたが、最近、参加していない      →（問 23 へ）  
3 参加していない      →（問 24、25 へ）

**問 21 問 20 で「1 参加している」と答えられた方にお聞きします。**

**それはどのような活動ですか。（複数選択可）**

- 1 町内会・コミュニティ協議会等の役員活動      2 防災・防犯・交通安全のための活動  
3 講習会や文化活動      4 清掃活動などのボランティア  
5 高齢者の見守りやお世話など      6 障害者の見守りやお手伝いなど  
7 子育て支援活動      8 生活困窮者やホームレスの方の支援  
9 その他（具体的に      )

**問 22 問 20 で「1 参加している」と答えられた方にお聞きします。**

**参加している理由は次のうちどれですか。（複数選択可）**

- 1 地域を住みやすいものにしたいから      2 社会や他人のためになる活動がしたいから  
3 知識や技術を身につけたいから      4 新たに友人や知人を得たいから  
5 持ち回りの当番制となっていたから      6 友人に誘われたから  
7 その他（具体的に      )

問 23 問 20 で「2 以前参加していたが、最近、参加していない」と答えられた方にお聞きします。それはなぜですか。(複数選択可)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 忙しくて時間がなくなった   | 2 健康面・体力面に不安がでてきた     |
| 3 参加するきっかけがなくなった | 4 一緒に参加する人がなくなった      |
| 5 興味がなくなった       | 6 どのような活動があるか分からなくなった |
| 7 その他 (具体的に      | )                     |

問 24 問 20 で「3 参加していない」と答えられた方にお聞きします。それはなぜですか。(複数選択可)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1 忙しくて時間がない   | 2 健康面・体力面に不安がある    |
| 3 参加するきっかけがない | 4 一緒に参加する人がいない     |
| 5 興味がない       | 6 どのような活動があるか分からない |
| 7 その他 (具体的に   | )                  |

問 25 問 20 で「3 参加していない」と答えられた方にお聞きします。どのようなことがあれば参加しやすくなると思いますか。(複数選択可)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 活動の情報が入手しやすくなること  | 2 定期的でなくても参加できること   |
| 3 体力的、精神的な負担が少ないこと  | 4 一人でも参加しやすいこと      |
| 5 地域の人から積極的な誘いがあること | 6 家族や友人、仲間と参加しやすいこと |
| 7 参加しようとは思わない       |                     |
| 8 その他 (具体的に         | )                   |

問 26 あなたとご近所との日頃のお付き合いはどの程度ですか。(○は1つだけ)

- 1 困りごとを相談するなど、家族同様の付き合い
- 2 簡単な頼み事や、物の貸し借りなどをし合う付き合い
- 3 立ち話や情報交換をし合う付き合い
- 4 顔を合わせたとき、あいさつをする程度の付き合い
- 5 ほとんど付き合いがない

**問 27 あなたの地域で充実している福祉活動は何ですか。(複数選択可)**

- |              |              |               |
|--------------|--------------|---------------|
| 1 住民同士の交流    | 2 子育て支援      | 3 高齢者福祉       |
| 4 介護予防       | 5 健康づくり      | 6 障害者福祉       |
| 7 認知症の方への支援  | 8 ひとり親家庭への支援 | 9 引きこもりの方への支援 |
| 10 生活困窮者への支援 | 11 青少年の健全育成  | 12 災害対策       |
| 13 防犯対策      | 14 ボランティア活動  | 15 分からない      |
| 16 その他（具体的に  |              | )             |

**問 28 あなたの地域で不足している（今後、充実していく必要がある）福祉活動は何ですか。**

**(複数選択可)**

- |              |              |               |
|--------------|--------------|---------------|
| 1 住民同士の交流    | 2 子育て支援      | 3 高齢者福祉       |
| 4 介護予防       | 5 健康づくり      | 6 障害者福祉       |
| 7 認知症の方への支援  | 8 ひとり親家庭への支援 | 9 引きこもりの方への支援 |
| 10 生活困窮者への支援 | 11 青少年の健全育成  | 12 災害対策       |
| 13 防犯対策      | 14 ボランティア活動  | 15 分からない      |
| 16 その他（具体的に  |              | )             |

**問 29 あなたの地域の福祉活動について、今後、充実していくためには、何が必要だと思いま  
すか。(複数選択可)**

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1 地域での人のつながり    | 2 地域のリーダー            |
| 3 福祉に関する相談窓口の充実 | 4 福祉に関する研修・人材育成      |
| 5 福祉に関する情報提供の充実 | 6 地域の福祉活動を支援する専門員の充実 |
| 7 関係団体等のネットワーク  | 8 分からない              |
| 9 その他（具体的に      | )                    |



地域福祉に関する市民意識調査報告書

令和2年11月

鹿児島市地域福祉課

〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号

TEL 099-224-1111（代表）